

雅言假字格序



門利

116

巻

古の古を代ふは、
を那をく、
被のま、
いは、
ま

りり来りて〜をきききき世々
ふ家もた〜をた〜
のき〜つたがひ〜字のほ〜
〜〜〜〜〜に〜
む喜も今志〜し大元入云の業那
う〜〜〜〜〜青いおもほ〜

あふ〜世〜
〜〜〜
〜のな〜尾張り殿人市忠の〜
〜のほ〜の業の〜
〜〜〜
〜の〜

那ぶべし後字はくひら可しとて
 有いぞんと玉たすまこく落しうけ
 てこちらくのひらたうひをうひの
 義かきまふのちまふまの雅浩
 なく秋野入草のつらくまえま
 出ましくあそそ若の根のぬもこ落し

ちもあせしれし世ふまおむじ
 まつらししふまふまうしふ文化の
 こもせししふまふ尾張ふま知郡
 成海神社神主尾張宿禰保秀

九例

○假字^カを^ツひのふ大く天曆の比よりああこの書やもハ
 あらぐーくーそイ井エエオヲの音^コま^ロ下ふつゝあれるハ
 ヒラノホヤアイウエオワ井ウエヲとのふぐひみれ誤
 まるゆ一つもあー其を皆つ録りにおのよ誤の者ハ差別^{ワキ}
 西の者れ終なり終るを語の者ハ古へも差別ハありしを
 一假字のそへゆくかきこけゆるあめとあふ人もあるハい
 べきあづりあめる一語乃音よりるあかくバ何ふよめて
 假字をかきこるものけむそのふ此書と彼書と假字のた

うへるこふく〜をみあおのびく〜も同トキをぬても法のきあ
もやより差別あり〜るをきくべきあり

○假字並ひの書ハ弊沖法作乃和字正澄抄揖取真音各
言傍此二つ乃書をあきていかおあ〜〜神ひ字ひ乃よあま
古言傍の〜詞あども多〜るよめよ記をねぬ〜もお
くもれ〜よハあやまぬ〜も又ゆえぬハけ書ハそをおぎあひ
ぬげ〜あり

○古言傍ハあ〜古言の證あかしをね〜ぬ〜けあよハをきく
〜あ〜ふ〜ハ〜もあ〜も〜もあ〜らぬ〜もあ〜もあ〜

それもをぶきろこのふこをうひ字あかし乃軍の常ルれのう〜ふ
〜おき又懐あかしあもあをきく〜ちひさ〜てう〜し

○古言傍一言の真假字まかハまぬ〜ゆ清濁あどの〜〜ぬ
〜も又ゆえぬ〜をいま〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
のま〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も

○**増**と〜〜〜下の回云乃辞ハいつれもあのが加へ〜
辞あり〜古言傍の字〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も

○ういま〜の類ハ音便〜方〜はあ〜も〜も〜も〜も〜も〜も
ふつ〜ひあれ〜もあ〜もあ〜もあ〜もあ〜もあ〜もあ〜もあ〜も

雅言假字格上卷

市岡孟茂補訂

○安部

一言

あ 安阿婀鞅心音

二言

あ 粟 ありく 淡 阿波又安房

あ 阿拜 ありき 水ノ上の 沫泡 若狭 藍

あ 鱈 味 阿桑

あふ逢へ
云々万葉小あゆ
る実ともよきり
あへ
響へ
あえ
あせり
肖
増
あえ
草木の
実の
あるを

三言

障泥	あゆひ	脚帶	あゆひ	距	あへき	喘息
小豆	あぢろ	扇	あふぎ	仰	あふり	
磁磓	あぢろ	網代	あふこ	物を荷ふ 木あり	初	
竹器	あぢろ	扇	あふぎ	あふ	仰	
	あぢろ	葵	あふ	蓋草		
	あぢろ	栗田	あふ			
	あぢろ	栗田	あふ			
	あぢろ	栗田	あふ			
	あぢろ	栗田	あふ			

あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
洗	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
間	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
合	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
會見	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
會津	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
鹿	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
碧海	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
赤生	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ
淡路	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ	あひ

平安 増 あへへ 直 あへへ 聘又詔 あひ

尾張地名 相津 四言

あひゆき 沫雪 あひむこ 姉姉の姫 けいひよ先

の妻 妯娌 けいおひ 孟彦云相追ふ師ノ古今集遠鏡一ノ巻 踏蹇 あをむす

きごひ 清盲 朦 あへへ 踏蹇 あをむす

螟蛉 あをがら 抗齒魚 あまづら 甘葛

さわ 紫陽花 けいさかや 花名 けいさちふ 浅菖 けい

けい 葎草 あをのり 海草 あへへ 食鹽 けい

えひ 味 あへへの 壅 あらふへ 鹿栲

つまや 四阿 けいむづち 射藝具ノ常 射架 けい

え 竹刀 あさあひ 交易 商 ああひ

具 造作 麻柱 けいそひ 争ふ けいふ 危

あつあひ 傷熱 喝 あらへ 明 ああひ

けい 或 けいさへ 刺 けいゆかた 相模 愛甲 けい

けい 安房郡又 駿河速江 朝夷 あさふづ 越前 朝津 増あ

工 けい 誘 けいづる 輕又侮 けいあひ 師云轍 争

あちむら 鴨ノ 撞 あふさじ 上ホカタト 云二月ジ 上〇三

巧りあけ
 晨明
 巧へあき
物ノモ早
7ニイリ
 巧きとひ
古事
記ニ安

五言六言七言

藝登比
トアリ
 あまのがも
天河
 あらむむだ
 赤卒
 あまがへる
 蛙龜
 巧まつひ
 蟬
 巧へづとり
 臍
 巧あふ
 ちや
 妍哉
 あをふふ
 冠辞
 あぢきあ
 無端
 あをひととさ
人民
 あらけらかふ
 螳螂
 あげひ
 かつら
 通草
 巧せのころもあせのきぬ
 袂又
 裕
 あらよさづら
 天吉葛
 増
 あらかづめ

豫
 巧げつらふ
 論
 巧きどり
商ヲ類ニ
スル
 巧さゆ
 まひ
痴病
 あらつら
 山榴
 あぢさな
拙詞
 あ
 ふあ
源氏物語ニハ
オホナクトアリ
 随分
 巧へあぢを
 橙
 あけのそら
赫ニテ塗
タル所云

○以部

一言

以伊已異移怡易夷音寐寢眠宿騰射五訓五

十二字一言 馬聲同上

二言

いも 妹 いも 署預 いみ 鳥 いぬを 鷓鴣

いほ 大 いほ 烏賊 いほ 稻 いほ 寐

いぢ 苛 いぢ いぢ 磐又岩 いぢ 磯 いぢ け

いひ 池 いひ 槓 いへ 家 いへ 廬 いへ 菴 いへ 五 百

ち市 いろ 版 いひ 飯 いと 糸 いと 鉞 痛

又寂大甚 いろ 色 いき 息 いえ 愈 いぢ 何

夢 いづ いづ 厭又 いづ 率又 いづ 出 いづ 何

時 いづ 稜威 いづ 嚴 いづ 熬 いづ 出 いづ 鑄

伊豆 いり 入 いり 熬 いり 鑄

今 いむ 忌 いひ 云 いむ 幾 いむ 伊豫

生 いく 往又行 いよ 彌 いよ 伊豫

いせ 伊勢 いせ 伊賀 いせ 增 いせ 不知 いせ 五

十日 いあ 否 いあ 射部 いあ 五

上〇五

孟彦云古言柳三稜威教ヲ清濁ヲモワキマスニテ門レトクハタカニ甚タガヘリ
綾威タダキ
巖清ノミ
トモニ師ノ
古事記傳
ニクハレ

三言

いろ丸	母人	いろせ	いろ丸	兄人	いろがし	弟人	いせこ
従父兄弟		いのち	命	いみち	諱	いごひ	
<small>息を延らん是を 物として体するを</small>	いびき	軒	いぐら	兔缺	いひ		
不いさ	腕又疣	いつる	<small>飛鳥を 射る</small> 弋	いあち	鮠		
いむさ	蛸	いかひ	貽貝	いさう	鯉鮒	いせく	
鯛	いぐひ	<small>魚名</small>	いざり	漁	いけち	蘊	いちび
茵	いちひ	赤檮又檮	いふひ	折傷木又木蓮子			
いぬえ	香藁	いちご	いんこ	覆盆子	いさど		

海髪	いそり	<small>海石</small>	いざご	砂	いそや	巖	いせ
や宿	いそり	廬又菴	いがき	齋籬	いづみ		
泉	いらり	麁	いらり	碇	いあご	筏	<small>小舟同様</small>
いざご	鎔	いびら	杏葉	いむゆ	いげえ	嘶	いく
<small>戦軍</small>	いどむ	<small>争桃</small>	いぐる	怒	いそひ		
齋又祝	いのる	祈又禱	いかり	巖又重	いせ		
賤又甲	いまる	在	いつ	五	いと	暇	
いしひ	獣	いづれ	何	いお		如	
何	いづく	何處	いふる	至	いづる	出	

いさむ 往去 痛 いまご 未 いぬる 寐二言い

いさむ 謙 いそぐ 急 いあむ 哭 いさむ 勇

ろこ頭増 いまう汝 因幡 いたみ 石見 いづ

いづみ 和泉 いあむ 因幡 いたみ 石見 いづ

いづみ 出雲 いでえ 出羽 いあさ 遠江 引佐 いあ

びいあ 郡播 印南 いひ石 郡播 揖保 いさた 斐甲

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

いそお信濃 竿井 いく乳 越後 勇禮 いひの藝安

入農 いらの額岐 生野 いむみ筑前 生見

いく淡路 育波 増 いさをいそ 功勲 いふさ

息吹 いざイガヤ 後串 いむべ 忌部

いづ藻名 いつく 齋 いそぢ 五十年 いまひ

往 いどく 懐抱 いらへ 報 いぬ西北お云

四言

いらづち 雷 いかづち 電 いざかみ神号 いらう

妹 いらるが 班鳩 いらるが丹波 何鹿

へむ又 鴿 又鴿 いひとよ鳥 鶴 鶴 いらむ上

上〇七

埋

いひあり

赤蟻

いぢく

嘶

いけみへ

犠牲又飢

いげどり

虜

いろうづ

鱗

いしも

ち鯨

いしづ

鮠

いしがえ

秦龜

いごどり

虎杖

いぬるで

葎草

いへふ孔

兔葵

いきく

景天

いをひき

商陸

いんから

羊苳

いんぐみ

草卷柏

いんぐき

頭上頂又戴

いんぐち

巔

いんぐえ

岩崩

いんぐち

礎

いのち

鐘乳

肆

いんぐき

平題箭

いとづき

勞

いりもの

内臍

臍

いふへ

古

いやちこ

灼然

いんぐち

官

勞

いとづら

いつをる

偽又俵

せい

鬱悒

いふり

不審

ひい

誘

いざよひ

猶豫

いよか

森々

いそがし

鬧

いへ

雖

いた

むや

いさかひ

諍

いとあ

恣

さく

いさく

平爾

いきり

勢

いふ

さ

薩

楫宿

いひ

遠江

邑代

増

いそ

く

春ノイソギナド云心ノイソギニ俗ニ出精

いむか

師ノ古事記傳十卷十三丁ニ委

強

禦	いきづち	息衝	いきのを <small>生/緒</small>	いくぞく
---	------	----	-------------------------	------

幾	いまし先	禁又戒	いつくし	儼然	いりり
---	------	-----	------	----	-----

ひ	日没	いあのめ <small>ニノジメ</small>	いあば <small>椽/家</small>	いや
---	----	--------------------------	------------------------	----

つこ	倍臣	いとしべ	齋瓶	いみじ <small>物ヲ甚ク云行ク</small>	い
----	----	------	----	----------------------------	---

つ先し	巖	いそゆる	謂	い
-----	---	------	---	---

五言六言七言

いらつひ先	いらつ先	郎姫又郎女	いやいおこ
-------	------	-------	-------

再從兄弟	いきまをま	窮鬼	いとまか	幼
------	-------	----	------	---

い不むむり	いひ不むり	螳螂	いあごまる	昨
-------	-------	----	-------	---

蝨	いちおとり <small>冠辞</small>	いきくたし <small>冠辞</small>	いこやが
---	-------------------------	-------------------------	------

ひ	文蛤	いもつと	羊躑躅	いらくも	羊
---	----	------	-----	------	---

桃	いっついも	芋	いとくま	石薺	いその
---	-------	---	------	----	-----

かた	いのみ	石尊	いさちま	いさちま	連翹
----	-----	----	------	------	----

あひかり	いあづま	電	いさど	いさど	い
------	------	---	-----	-----	---

憤	いちしるく	灼然	いちたせ	巖捷	い
---	-------	----	------	----	---

たし	け	旛	いちあけ	苛を伊良と刈 那初久ハ辞	いそののみ
----	---	---	------	-----------------	-------

大和	石上	いさ	がた	伊勢 在	五十鈴川	いつさ
----	----	----	----	---------	------	-----

のみや	齋宮	いくた	ごころ	射架	いも	志うと
-----	----	-----	-----	----	----	-----

火

妻の姉
妹

姨

いぬらびざり

牽牛

いぬのふらび

夫

いさちたかみ

蔓椒

いぶつきこころ

冬蝨

いさおふせざり

稲負鳥

増いささみづ

水潦

いさじよ

清冷又潔

石

いさめつ

石菖葛

いさやぐ

師云日本紀
流矢ヲイタ

ヤダレト訓
ルハ當ズ

痛矢串

いくみづけ

竹ハ組
入

いたとか

石
常堅

○宇部

一言

于宇汗紆鳥有雲禹羽

二言

うま

馬

以表と云
ハ後の轉

魚

うど

蜡

うき

梅

う

殖

う

飢又饑

う

髻華

うづ

水廻

渦

うづ

珍

う

姓又氏

う

山城
郡

宇

治

う

初

う

笠

う

上

う

諾

三言

うかぬ	髻髪	うたを	後夫	うかド	項	うづら
鶉	うばら <small>うまら</small>	荊又茨	うし不	潮	うちん	
團扇	うまし	可美 <small>可怜又旨</small>	うげひ <small>うけふ</small>	肥 <small>肥阻</small>	約 <small>約</small>	祈 <small>祈</small>
うたへ	訴	うもひ <small>うたふ</small>	詠声	歌	うかび <small>うかみ</small>	うかみ
ひ <small>うら</small>	憂又愁	うわひ <small>うわふ</small>	奪	うまひ <small>うまふ</small>	上野郡	
碓氷	うたと <small>甲斐</small>	表門	増	うらへ	ト相	うみ
を	績麻					

四言

うんあり	後毒	うぐひを	鶯	うまかひ	典馬
うまぐえ	馬杷	うまびゆ	馬覓	うまらひ	薄
氷	うまかひ	社	うやまひ <small>うやまふ</small>	恭又敬	
るたし	羨	うるねひ <small>うるねふ</small>	潤又漚	うしあひ	
うかひ <small>うかふ</small>	失	うらあひ <small>うらあふ</small>	詔詞解 <small>ニ委レ</small>	うろひ <small>うろふ</small>	移
うかひ <small>うかふ</small>	窺又伺	うちをへ <small>ト云ニ似タリ</small>	孟茂云ヒタスラ		
うつりさ <small>地名</small>	氏又山城	うるひづ <small>上総</small>	濕津	うりふの	
日向	凡生野	うたがひ <small>うたがふ</small>	疑	うらあひ	

うらふうらふ ト占 増うべあひ 諾うめえへ虫守

瓜 うきづく 慨え うつもる 埋 うあづく 黥

頭又領拜 うつもへ一向 うみつぢ 海道

五言 至十一言

うまふうまき 牛蒡 うまきう 鯉腸草 うえお

そひ 褌 うへのきぬ 袍 うえもの 罟 うづ

くもる 蹲 うりくつ 蒺藜銜 うのひこ

ひ石龍菊 うびたひのう 戴星馬 うぐひを

のいひ石龍菊 恒山 うまひのつかさ 雅樂寮

あへうぐをつさ 刑部省 うらみをやらふ

あかあ 美飲喫哉 増 うとあたる 集侍 うらト

もの枕詞 うえへあき 師云アイソナキ うるふづき 閏月

ううぐう 美ル うつおえ 現大身 うあおた

あり童女 故

延部

一言

え 衣延 要曳 依叔 哀埃 愛音凡 江在 椽枝 柄柯 得

吉善訓可愛 二字言 穎娃二字言薩大郡名

二言

えひ 鯨 鱒 えひ 鱒 えび 鰕 えだ 肢 えだ 枝

えぞ 蝦夷 えち近江郡愛智 遠江々依智 えお加賀 英太

三言

えをぢ兄父の えみり えびす 蝦夷 又夷 えひら

蟹薄 えふり 机 えつり屋具 えやみ 疫又瘡ヲ

えらびえらぶみ えらぶえらぶみ 撰 えくみ伊勢 兄国 増

えづら 役 えぬ吉野

四言

えんむし 蝨 えびを袖 地榆 えびを兜 昆布

えうむし 痞 増 えちらぬ内

五言

えやえぐさ 龍膽 えびかづら 蒲萄 又紫葛

えびまぐさ 増 えびまぐさ 芍薬 増 えくるし苦

ヲ甚レ
ク云レ

○於部

一言

お 於 於 意 億 億 億 隱 乙 應 礫

二言

おや 親 おる 母 おる 面 おぢ 祖父 おば

祖母 おれ 人を後失て云言あり おみ 臣下又加婆祢 おこ 人名又加婆祢 使

主 おい おお 老 おお 鬼 人神 おぶ 白貝 おい

鼠 努 おい 忍大和郡 おい おま 押推 おび 帯 お

き 瀛 又澳沖を剛 おき 又いき 息 おき 隱岐 おき お

上〇由

古言抄
よお老女
ニトアリ
縣居大人
モ老女ヲ
於與那ト

訓ベキヨ
シイレツ
レドんテ
於与那ト
云一物ニ
ニエタル
ナキヨシ吾
師鈴屋大
人ハイレキ
依テコニ
ハブキツ

く 奥 **おきかく** 起 **おきかく** 置 **おきかく** 置除

い おひ **おひ** 生 **おひ** 負 **おひ** 追 **お**

お 大 **おと** 音 **おと** 乙 **おる** 織 **おち**

落又墮 **おち** 忙怕 **おそ** 痴鈍 **おふ**

飫富 **おう** 郡出雲 **意宇** 増 **あり** 降又下

三言

あ **あ** 麗 **あ** 祖父 **あ** 翁 **あ**

の 已 **あ** 大人の畧 **あ** 面表日 **あ**

び 指 **あ** 及 **あ** 瘖啞 **あ** 大臣又

ありべ 織部 **あ** 大炊 **あ** 莞 **あ**

大黃 **あ** 蘿菔又菜菔菹 **あ** 苜蓿 **あ**

と 晚稻 **あ** 棘菽 **あ** 生 **あ**

熾 **あ** 燐 **あ** 條 **あ** 繆車 **あ**

こ 輜 **あ** 重 **あ** 大御代とらひ大御 **あ**

り 多 **あ** 思 **あ** 覆 **あ**

一 卸 **あ** 凡 **あ** 劣 **あ** 違 **あ**

ド **あ** 同 **あ** 贈又送 **あ** 遺

後 **あ** 起又興發 **あ** 遣

おさへ 押 おそる 恐又懼 おびゆ おびえ 愕

然 おろる 溺 おごり 奢 おふれ 拍浮 おら

びおふ 叫 およぎ 泳 おろり 愚 おぶえ 覚

おふせ 命 おきて 旋 おとた 山城郡 愛宕 おふ

ち 讃岐郡 大内 おふち 播磨備中 大市 おふみ 因幡郡

石見 邑知 おざり 大和 忍坂 おきつ 弦河 息津

増 おびと 婢 首 おざり 古語於遺云今俗強云 おぶ

ろ 隴 おくり 真所 おいて 印 おさひ 襲覆

おとた 襲衣 おつと 狹古言務知ニ誤レリオカスノ後 おいて

於 おみお おみお 老女 おろけ 失意 おろし 物表

テ云詞ニ英フギコラ云ヲカレハカノ假守ノ思ヒ
ニガフベカラズ委シクハ玉賀津未初巻巻ニ云

四言

おろどり 太虚 おろみお 御體 おさきこ 大

君 おろおむ 曾祖母 おろをぢ 従祖父 おと

をぢ 阿叔 おとうぢおと 弟 おろよ免 如婦

おとよ免 娉婦 およづけ 老附 おとがひ 領お

もかげ 面影 おもむくおもふき 赴 おわりお

かき	悦し奇	おる福る	阿容	おるとり	鶴	おる
かき	狼	おるとり	麩	おるとり	蟹	おとむ
蚬	又麿虫	おるとり	食菜菓	おるとり	黄精	お
わがこ	車前	おるとり	茶	おとくさ	玄参	お
わびる	大蒜	おるとり	薤	おとくさ	澤瀉	お
わせり	大芥	おとりのり	於期菜	おるとり	洪	
鐘	おとつき	墓	おるとり	榔	おとす	檻
おるとり	虎子	おるとり	鞆頭	おるとり	弩	
おびとり	鞆	おびとり	鞆	おびとりの		

佩	おゆもろ	綺	おとくさ	社	おとくさ	綾
又老繫	おとふへ	苞苴	おとみさ	大御酒	おの	
おの	各	おとあひ	喧響	おとあひ	おとあひ	行
およづれ	妖言	おとやう	おとあひ	穩	おるとり	
おるとり	所思	おとよ	婬媛	おとよ	おとよ	
急	おとろく	驚	おとよ	憎又脚	おとよ	
賒	おとろ	疎	おとろふ	衰	おとろ	
る	魔	おとろ	おとぬみ	忍海	おとろ	
らき	郡上野	邑樂	おいとこ	置賜	おとろ	

若狹 郡 大版 おやい 豊後 郡 大分 おさのべ 伊勢 又遠

江 刑部 おさのべ 美津々 忍壁 おささひ 土佐

大忍 増 おるやけ 官 おる 鬱悒 おひ

師云俗ニオヒツクト去ス 追及 おろけ 小縁

五言 至十四言

おろきうみ 溟渤 おろぶから 人民 おろく

ち 曾祖 おろかふち 氏 おのづのら 自 おび

志 おる 賺 おろおよび 拙 おさめざり 護田

鳥 鸚鵡 おろむむ 蝗 おろきうま 駑馬 お

小やらひ 追儼 おろせれる 葛ナドノ 延 おきかぐさ

草 白頭公 公ハ箱ウ おろくそみ 虎掌 おろろおひ

稽 おろくそみ 菘莫 おこしお先 粗糲 お

つ き 几 おろしる 面白 何怜 おろよと

睽 おもててる 唱然 おふあま 丹後 凡海

おろやひと 大和 おのころ 碓取 盧嶋 お

きあがめた 近江 息長河 おろかふち 氏 凡

河内 おろくくそ 黽 おろちふち 蝶蛸

おむあつら 苜蓿 おろ乃やから 續断 お

みるごき

茸唐子

おむものいる

馳射

おろつ

うたさ

鬱悒

おろとのろがひ

大殿祭

おろお

おぢをぢ

族父

おろやびとまぢきみ

侍従

お

もとびやと先うちぎこ

侍従局

おむりこともち

のつりさ

大宰府

おろきむぢのつらさ

正

親司

おろぬのつらさ

大炊寮

おろどゆりの

つらさ

大舎人寮

おろつらそで乃つらさ

大

膳職

おろららめつらさ

大藏省

おろいまつ

りごと乃つらさ

大政官

おろいおろやもひ

大辨

中弁を奈加乃々
少弁を須奈伊々

おろまつりおとひや

参議

おろいものまぢきつらさ

大納言

中納言を奈加乃々
少納言を須奈伊々

おろいまうぢぎこ

大臣

おろまつりことのお

おまつきみ

大政大臣

増

おぎろあき

奥十
キト

えい

おのがぢや

オノガキ

おろをりの

劍名

おろお

むぢ

神ノ
名

おろざぢぢ

後世ノ
皇后 大后

おぢそのあせ

息嘯風

おそふらひ

押し

蒲生	加さへ	ふ	く	河原	交	らえ	大
加さへ	傍	数	行	あへ	あへ	草麻	樺
甲賀	かのえ	かよひ	沖を	鏝	廁	かを	かつら
うた	庚	かよひ	を	かを	あもえ	水苔	葛
高家	かふち	通	潜	かを	し	りりる	あつら
河曲	河内	かちひ	かを	かを	かたら	假廬	髪
うまふ	かふ	乾	かを	替	尾	うい	黄草
賀集	かふ	又燥	かを	又更	かを	うい	あ

かた	かた	どふ	ひ
肥後	合志	師云誘に出シイ	万葉
うた	うた	うた	河津
うい	うい	うい	
香椎	かふ	奏	

四言

うみ	甲	ろひ
雷の	かを	虫
うぢ	鳥毛虫	うた
楳師	か	苦
かい	蝙蝠	うた
う	う	骨蓬

ひろぐ

舳

かぶふり

かぶらけ

冠

うをらけ

土

罌

うまがひ

かせづゑ

鹿杖

又横首杖

うら

ぎを

かぐを

相語

かふる

傍

うくさふ

隠

くらひ

考

かふらび

悲

うをらび

必

う

うぐ

考

かふらび

悲

うをらび

必

う

づらき

大和郡 葛城

かいがや

上野

挂萱

うさを

ゆ

嶺岐

笠居

増

かゝるで

膳夫

うをら

堅

石

かぐよふ

炫

かるとり

鳥

かると

堅

ふ花

かいえろ

帳

かいまみ

物ノ際ヨリ見ルヲ云垣

見

かゝづく

大切ニスル

うゝあわ

韓藍

かつを地

堅

魚木

うゝあわ

師云日々

五言 至八言

かそのうみ

神川の

あそひらこ

蝶又蛭

かごつぶ

ゆ 蝸牛又蛭

かつをじ

蟻螻

かごつぶ

草莢

かそやみ

水楊

かそひくさ

女青

あづあわ

桔槔

うをぶるも

表

かぶらきり

鈴

うぐのあこ

結果

かへりうつ

擲倒

うへ

りみる

顧

かみつふさ

上總

かつをいろり

上〇七二

堅魚煎汁 うすどけあし 忝又辱 かへりまを

賽 かたぢきのき 賣子木 かたぢよるぎ

らよしぎ 菊 かいらよるぎ 白蒿 のらそどろこ

吳茱萸 かちまあふぎ 射干 かちおこしあ

苦笑 かそくふつら 衛矛 くさかききのい

ひ 饕餮 かむづまり 神留 かづづ

らふ 物ニカ、リ
ヲルヲ云 のらふれゆき 師ノ大被
後秋ニ委シ

ノ凡エワカヌ
程ヲ云

○幾部

一言

幾 幾々 伎岐 吉記 紀 枳 企 奇 寄 綺 騎 既 棄 巾 鬼 祈

祇機基忌者嗜 音清 藝疑擬宜義儀蟻 音濁

二言

きど 雉 かぢ 疵 きえきゆ 消 かぢ 際

三言

地をど 黄蘗 かぢが 孿 かぢひ 腊 かぢひ

きとふ
地と云 針 かぢひ 競 かぢひ まみ かぢひ

上〇九三

極 又 究

きこえ きこゆ

所聞

きらひ きらく

嫌

又 棄

きのふ

昨日

きのえ

甲

四言 五言 八言

泥 ぬい

胡黎

きりくひ

杠

泥ぬい

常云きぬ

砧

きよ きよ

淨

きのう きのう

半

天河

増

きこ きこ

レロシメスニロシメ

きそひ きそひ

服ヒテ猫スルヲ云

○久部

一言

久玖九鳩句約君苦空宮矩俱區衢孔丘 音清具

愚寓隅遇求郡虞供娛 音濁

二言

又 抗

桑

く く

鋏

く く

葛

く く

屑

く く

杙

又 抗

く く

く く

咋

く く

悔

く く

崩

三言

く く

雲

く く

鵠

く く

水雞

く く

麿又磨

くらら

鯨又鯢

くじね

烏芋 又慈姑

くひせ

拙

くつじ

轡

くつり

鱗

くら

ね位

くるひ

狂

くらら

隈

くつる

崩

くは

あをふむ
る辞し

細

く

く

喰

く

ふく

加

く

筑前

整郷食

く

伊勢朝

明郡訓

覇増

く

蠶

四言

くらら

藏人

くちあを

蛇

くろごひ

竜魚

く

まのい

熊膽

く

人參

く

紅

く

へき

具 蟹系 及轉

く

安藝

訓覓

く

烏頭

増

奇

く

ヤセホ
ソル

く

五言七言

くさおあさ

野猪

くりのいが

栗刺

くれのお

も興藻

く

馬鞭草

く

細

子草

く

鬪草

く

饅

く

のふえ

小角

く

戯

くれのお

薑

く

蛭螭

く

麩

散

○計部

一言

計介氣家化邪奚雞谿迦價魯希啓開階戒該

潔清音既清音慨濁音夏解下牙尋偈宜擬霓礙凱愷皚

嶮濁音

二言三言四言五言

けふ 今日 ぢひ 筍飯 けぶりけむり 煙烟日 けづ

る 削 けづる 梳 けりひ けりひけりひ ぢふぢふ ぢふぢふ

燻燻 増増 けりし 嶮 けぢめ 差別 けぢりけり 穢

○已部

一言

己許古胡枯姑枯故居固孤庫巨渠去莒舉虛據

興高額清音吳誤娛五吾悟語後凝其基期虞御馭濁音

二言

こひ 鯉 おひ足病 こひこひ 戀 こひこひ 乞

こえこえ 聲 こえこえ 越 こえこえ 肥

三言

おとし 特牛 こずゑ 梢 こそね 温菘 こそり

氷	こなり	郡	ことぢ	箏柱	こえり	強	又	侄
こよひ	今夜	増	こよふ	答	こつと	鮫	こえり	

四言

高麗人	こなり	蜻蛉	又	蟬	ことの	を	絃	こ
-----	-----	----	---	---	-----	---	---	---

せいひ	強飯	ことこり	理	又	義	ころ	ふ	ひ
-----	----	------	---	---	---	----	---	---

こい	伊勢	漕代	増	こり	り	づ	隠	水
----	----	----	---	----	---	---	---	---

ま	臥	こ	の	へ	こ	ひ	の	む
---	---	---	---	---	---	---	---	---

五言六言

こ	こ	づ	くり	效	こ	ろ	を	へ	こ	む	ら	か	へ	り
---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

又	か	く	ま	あ	り	轉	筋	こ	の	て	が	し	え	児	手	柏	増	こ	い
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

あ	ろ	び	展	轉	こ	と	さ	へ	ぐ	こ	ろ	と	ら	ひ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

心	足	あ	ろ	ま	と	ひ	失	意	あ	を	ろ	こ	を	ろ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ク	サ	マ	ヲ	云	枕	詞	疑	物	ユ	ノ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○九部

一言

九 佐 差 璫 磋 沙 娑 砂 紗 散 射 作 社 者 草 舍 積 柴

霜清音 謝 坐 座 藏 邪 焚 裝 奢濁音

二言

澤 多 櫛 又 竿 寒

互 澤 多 櫛 又 竿 寒 實 花 副 又 並 增 地名 佐 韋

三言

栄 螺 子 劔 巻 射

櫻 授 障 栄 月 水 境 騷 づ

逆 誘 さへき 氏 又 安 佐 伯 相

馬 雜 太 早 良 假 殿 相

馬 雜 太 早 良 假 殿 相

馬 雜 太 早 良 假 殿 相

馬 雜 太 早 良 假 殿 相

四言

牡 鹿 疇 早 良 假 殿 相

黄 菜 盃 又 坏 盞 戲 射

づち

柀 榎

さひづち

鑄

さねをへ

侍又伺候

さいへん 音便 ハ 幸又福

さもらひ さもらひ さむらひ さむらひ

侍又伺候

さまよひ さまよひ

呻吟

さむらひ さむらひ さむらひ

伶征

さじがし さじがし

騷

さへぎる

遮

さいごま

埼玉

さいごま

氏又加賀 三枝

さいいべ

上野 雀

部

増

さじく さじく

二 物ノ音ヲ云

五言六言七言

さへのかこ

道祖

さむへかひ

冠辞

さあうづ

五味

さるをがせ

松蘿

さぶれゆし

細石

さやづ さやづ

騷

さるあらしき 澤

蘭

さいらえをとこ

増

さうぶがひ

酒樂

さあつらふ

枕辞

さうみづき

さうづく

酒宴

○志部

一言

志士仕之芝師四斯死旨指始信進新式試此紫

次吐司伺詞嗣侍詩思偲施純重尸子矢笑資茲縹

清時事辭清濁二音自慈兒寺盡茸珥餌濁羊蹄二言

二言

志ひ 推 志る 潮又汐 志る煮潮作ル 鹽 志る 皴

皴 樹 樹 樹 倭丈 皴

賤 増 皴

三言

志るを前夫 志るを 志るを 鮎 志るを 志るを 志るを 志るを

しづえ下枝 志るを 志るを 清水 志るを

鞞 志るを 瘤 志るを 諫 潜 志るを 後 志るを

ひる志るを 強 志るを 暮 志るを 縮

又蟠 志るを 静 志るを 滴 志るを

沈 志るを 所産 志るを 十二月

志るを播磨 志るを 増 志るを 志るを 志るを 志るを

志るを 席 志るを 願戀 志るを 志るを 志るを 志るを

上〇子

雪ノトケテオ
ツルナドヲ云

四言

志うとめ

姑

しひあせ

糝

志くじき

膝

志ん

ふじ

歎嗽

志るさお

潮騒しほざわん

しろうへ

白布又

白栲又白妙

しんさへ

敷拵

志うがひきき

順

隨

増 志うく

移鞍

志るさる

泣涙

五言六言七言十三言

志るづふしるづぶ

下總

志るびしるび

醢

志りくしりく

志るくしるく

端出之繩 又注連

志りよしりよくちより

こくやまひ

霍亂

増 志るころ

静心

志のぶ

七言五言

師ノ玉賀津未五ノ巻
十七丁ニ委レ

〇須部

一言

須春周主取素數列秀珠殊輸酒齋音清受授儒

孺聚音濁

二言

筋 吸 鈴又鐸 末

假髮 周淮 居 末

信濃郡信濃郡 諷方

三言

雀 巢 鱸 質直又儉音系

相撲 住 質直又儉音系

涼 救

漉 不覺又坐音肅 周防

河内河内 菅生 增音え 梵

四言

を音神号 陶 繩墨

みのえ津國 住吉 增音え 乃

五言八言

せむらづらむひ	忍冬	せむらひくさ	旋復花
せむつひ	未遂	せむらいのよ	少納言

○世部

一言

世勢齊劑制西栖細 清音 是莖啞 濁音

三言

せうせ 兄

○曾部

一言

曾層僧贈蕪所泝祚且祖則宗諸鑄清音鉶叙增

憎俗賊茹序存音濁

二言

そえ 岨 そひそひ 添又傍 そあ大隅郡 贈啖 そ

そ 緒

三言

そね地そふき 歷草 そのふ 園圃又苑囿 そふ

そふへ 備 そふごそふづ山田中を獸のおとろ そふを

讀岐 蕪甲 そこひ 涯 庭 そびえそひ 聳 增

そがひ 背向 そきへそくへ退隣

四言

そこあひそこあひ 弊傷

五言

そへくるま 副車 そふのかみそふの大和郡 添

上 添下

雅言假字格下卷

市岡孟彦補訂

○多部

一言

多哆丹他他他他當當儂囊清音太陀駄清音娜清音

二言

鶴 鯛平魚 栲 妙

堪 絶

三言

とらじ	專	ふふる	倒	とがい	施	ふづき	鏞
ふづき	便 <small>のま</small>	とらひ	盥	とをめ	山 <small>のこまめ</small> る <small>むし</small>	とをり	とをり
とをる	手折	ふさこ	とをり	撓	とひら		
平	とまひ	歐吐	ふさひ	賜又給			
え	給	とらひ	違	ふとへ	譬喻		
とらぬ	尋	ふさひ	比又類	とらひ			
<small>山の頂<small>ヤ</small>もと手<small>糸</small>終<small>ス</small></small>	とふを	丹波	ふらま	但馬			
丹比	とけふ	武蔵 <small>々々</small> 但馬 <small>々々</small>	高生	とらへ			
<small>信濃<small>々々</small>佐渡<small>々々</small></small>	高家	といま	大和 <small>々々</small>	當麻	増	とをく	奸

つへ 榊

四言

とをやえ	婦人	とづかひ	田令	とまへ	魂
ふあそを	手端又手子	このごひ	手巾	とふさだ	
犢鼻禪	とづのさ	女貞	とらち	箕皇	
とらづ	蕙政	たいまつ	つしまつ <small>同</small>	松明	とがへ
以耕	とがへし	相叔	とらひ	戦	
ふとし	貴	とらひ	漂	とらづ	起 <small>とま</small>
とをし	倅	とらひ	猶豫不定	とく	

ちひさく ちひさく 貯 ちひさく 戯 ちひさく

作劇 ちひさく 詭言 ちひさく ちひさく ちひさく

携 ちひさく 聞又酣 ちひさく ちひさく ちひさく

五言六言九言

とげの ちひさく 箴 ちひさく ちひさく ちひさく

河内 ちひさく ちひさく ちひさく 俳袖 ちひさく

むさの ちひさく 籜 ちひさく ちひさく 和葛 ちひさく

づー ちひさく ちひさく

○知部

一言

ち 知智池遲馳陳稚致耻擻 音清 治地尼旒泥塗

貳膩 音濁

三言

ちおも 乳母 ちをや 禪 ちうひ ちうひ 哲言

四言

ちゆひぢ 塵土 ちひさし 小 少 ちうづく 近

増 ちうへる ちうへ 散

五言六言七言

ちをやぶる

冠辞

ちひさねもの

禪

ちぢりか

ふり

幘

増

ちをやひと

枕辞

ちりりこを

強

カ

〇都部

一言

つ

都通追兔菟鬪屠

清豆

途圖徒

清音

頭

清音

二言

つを

石落

つを

唾

つを

杖又丈

三言

つをり

膝

つらひ

使

つらへ

仕

つむ

廻毛又旋毛

つと

躑躅

つくる

机案

つづみ

鼓

つぎひ

集

つひ

遂

つぎ

續

つ

づる	綴	つひゆつひえ	費	つとひ	つとひ	つとひ	傳
ついで	ついで	次	ついき	筑城	つがひ	つがひ	
<small>豊前</small>							

四言

つえもの	兵	つまづく	越	又	蹴	終	ついでむ	啄
つまいり	蹄躡	ついがき	ついで					
ち朔	つちのえ	戌	つうえ	遣	つば	お		
まやう	約	つくろひ	つくろひ	繕	つくのひ	つくのひ		
儼	ついで	ついで	増	ついで	ついで	ついで		

五言六七八言

つぬさ	つぬさ	つむ	つむ	つむ	つむ	つむ	つむ	つむ
つぬ	つぬ	つぬ	つぬ	つぬ	つぬ	つぬ	つぬ	つぬ
く	く	く	く	く	く	く	く	く
たもの	たもの	たもの	たもの	たもの	たもの	たもの	たもの	たもの

ト〇五

○天部

一言

て 天豆低底庭帝諦堤提弟清代題 清濁 田傳殿

泥塗沮耐音濁

二言三言四言五言

てふ 古何ととつと云言をてて何とちやてり
ゆくとふとも云を中せより結くとふと云 てをの 釘 て

らふ てらふ 街 てらづき てらづき 啄木鳥又斲木

増てづとり 調布

○登部

一言

登刀斗等苔觀鄧騰騰藤得德渡妬屠清 土杜

圖度清濁 杼奴弩怒特迺耐音濁

二言

こと 戸母 とを 十 こひ とふ 問 こち とふ

閉

三言

こびを 飛魚 鱈鱒 とりぬ 神門 とき尤 常磐 こ

とのみ古
言採い
三誤

のぬ	宿直	ともし	朝繪	とふふ	とあへ	唱	とらふ
とく	捕	とを	撓	とろ	遠	とろ	通
とこひ	詛						増

四言

とらふ	遠射	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	調	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	訪	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	非時	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ

五言六言八言

とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ
とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ	とらふ

○奈部

一言

奈南難難那那乃

二言

おへ 苗 おる 地震又地動 おえ 繩 おる 直 お

不 猶 おづ 撫 増 おべ 並

三言

なむぢ 汝 おづき 腦 おへぐ 蹇 おるづ 鯨

なぶつ 瘡類 おづか 齋 おまお 澤寫 おいて

略

お不巳 直入 おふた 津国 難波 からひ 讃岐マ

成相 増 おづむ 泥 おをり 波折

四言

おえせみ 蚌 お先くら 蚰蜒 おえさを 鮪

魚 おはしろう 苗代 おりいひ 業 おおらひ

直會 おりいひ 愁 おぼらひ 准 おづ

さし おつさふ 孟夜云おづさひハ水ニ影ニイリ又中昔ヨリハあれー

さし おつさふ 増 おらえし 習 かね のり 海草

かづのみき 古事記傳三
十七卷二委

五言

あまえのみき

荊

あふーあふ あふあふ

名ふ
負ふ

あいが

しろ 蔑

○爾部

一言

小 爾你途二仁而耳珥貳尼柔

二言

小 虹

虹

小 磯

磯 鷓 鳩

小 花

庭 場

庭 場

海上の静
ありを
余波や云

小 へ

苞 苴

小 心

新

小 小

小 越 大和又
前郡 丹 生

小 安

安藝遠江
安房々

壬 生

小 元

小元

煮

三言

小 小 座

小 小 丸

膠

小 小 小 小 小

耳 逐

又 八

甚	び燎	小石	餘光し又声	小石	俄	小石
	小石	小石	小石	小石	荷擔	小石
	新田	小石	小石	増	小石	小石

四言

おろど	二言	鵜	小石	地膽	小石
茵芋	小出	小石	地層	小石	新嘗
漿	常陸	新治	小石	小石	小石
新治	郡	小石	小石	新川	増
和布	郡	小石	小石	小石	小石

五言六言

小石	雞	小石	蘭茹	小石
朱櫻	小石	瀆	小石	鶴
小石	小石	小石	小石	小石

○奴部

一言

ぬ 奴怒努弩農濃

二言

ぬえぬえこどり

鶴又鵠

ぬひぬめふ

縫

三言 四言

ぬおえ

尊

ぬりづく

額突又叩頭

増

ぬえくさ

偃草

○祢部

一言

祢 禰年尼泥塗佞沮

三言

祢おみ

鼠

祢らひ

祢らふ

候候

祢がひ

願

ゆふる

眠

増

祢こ

堀

五言 七言

ゆぢげびと

佞人

祢ぢこもちのき

棟

○乃部

一言

の 乃 迺 能

三言

のづち 蝮 のらえ 蘇 のこき 暴風 のごひ

のこひ 杖 のろひ 呪咀

四言 五言

のこひのひのまののまののまのの 宣 のいびき 肉刺 のむ

いふえ 吮

○波部

一言

を 波 破 敷 半 判 絆 伴 巴 播 幡 幡 薄 八 方 清音 伐 婆 濁音

二言

ちゝ 母 をへ 蠅 をえ 鮓 をえ 生 をえ 莨

をひ 灰 をぢらう 恥 をひ 匍匐 をひ

をひ 岐行 をひ 延増 をい 櫛 をえ 日蝕

をい 姓 土師 をい 弭

三言

増 <small>をねん</small>	羽床 <small>をい</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>
花名	賛岐 林田	上野 祝人	山城 紀伊	伯耆	始又初	被	彈	埴生	初穂
	をい	をい	をい	をい	をい	をい	をい	をい	をい
	半志	拂	齒	鼠麴	針魚	をり	羽交	朱櫻	皮膚
	をい	をい	をい	をい	をい	をい	をい	をい	をい

四言

黒子 踊	をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら
月	へとの	トのみ	いかに	葬	郡 菘原	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>	増 <small>をひ</small>
をら	へとの	トのみ	いかに	をら	をら	をら	をら	をら	をら
魚	蛾虎	薑	掃墨	山城 祝園	家ノ入口ヲ云々	十二巻	十三巻	古事記傳	江
をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら	をら

五言 六七八言

たつきがし 彗星 たさおりえ 促織 たへらら

ひ 白拂 をづくろひ 叔 たひもゆこ 杜中

らふふえ 大角 をちまのそひ 螢 たひもとや

ろふ いひもとろふ 匍纏 をりりめおもし

権衡 たくりさの おるぢ 外祖父 たくりさの

を くさの 外祖 増 そりつら 濱ニ生ル蔓草ナリ

を あぐ 花ヲ称美ノ詞ナリ

○比部

一言

ひ 比妣非悲斐飛必秘彼被肥卑婢賓嬪辟避譬

臂費 清音 毗 清音 濁音 備鼻眉媚寐弭 濁音

二言

ひぢ 臂 又肘 ひぢ 土 い ひぢひづ 濕 を 氷

魚 鯢 ひえ 裨 い 比 い 敷 増 ひえ い ひ い

冷 ひ い 昨エ物ヲヘカト云モトエダツバニレル言ナレベシ 押 又聶

三言

下〇古

ひじり	聖	ひとひ	額	ふとひ	蔽髮	ひこえ
失聲	ひふ	雛	ふくる	蛾又蝨	ひづえ	蹄
むつが	羊	ひつち	樽	ひいづ	秀	ひこえ
ひし	醬	ひたご	し 檜皮	ふとを	頓丘	ひとへ
一重 單曰	ひきわ	率	ひろひ	ひろひ	拾	ひのえ
丙	ひむつ	日向	増	ひあぢ	妻ヨリ夫ヲ云称し師ノ 古事記傳ニクハシ	
田言						
ひえかり	鴨	ひをむ	蚌	ひがきも	鹿尾菜	
ひこを	薬	ひらぎ	杠谷樹又巴軟天	ひきか		

び	衿帶	ひちりこ	こひち	泥	ひぢま	地	釧	ひと
へ	偏	ひと	一入					

五言六言八言

ひつどぐさ	白鮮	ひと	ごま	ひそ	へくま	副車
ひとひ先ぐり	太白神	ひぎ	のり	つ	膝胛	
るむや	ひ	こい	い	し	鯁魚	ひがげ
らづら	蘿蔓	ひき	の	ふ	こ	ひぐさ
づらひ	別々俗ニ云 ヒツルニ同	細辛	増	ふ	こ	

○不部

一言

ふ 不否布副扶負敷浮甫輔賦府俯符赴清夫父音

ふ 步霧鶯部濁音 蜂音二字

二言

ふち 藤 ぶつ 駿河郡又山名 富士 ぶえ 笛

三言

ふぢぢ 蒲公草 ぶみ音 能登郡能登郡 鳳至 ぶこむ長門々 舎 ぶ

ふひふふ 節 ぶし 能登郡能登郡 鳳至 ぶこむ長門々

二處

ふげひ

漢の名又人

吹飯

増

ふさふふさ

良

四言

ふくろふ 梟鴞 ぶづけ 罽 ぶきぐた常いど云

鞞 増 ぶらむへ 觸 ぶりえへ吹云ワサクト云ミミシ

五言七言

ふあよそひ 蟻 ぶぢごろも 縷 ぶぢをかま

蘭 ぶこふぶ 踰 増 ぶるひをのくふひをのく

戦慄

○閉部

一言

及返閉敵幣弊蔽篇遍霸陛珮背沛杯輦鞞音清
便辨別倍陪音濁

三言四言

へつひ

竈

へつらひへつらひ

諂又諛又譏

○保部

一言

不保褒本寶富朋費報譜裒善音清冗煩乏音濁

二言三言

ふ

頰

ふえるふゆ

嗶又吼又吠

ふつえ

木枝

あしひ

糲又餼

ふと

脯

ふのふ

燭

ふいと

備中

穂北

四言

ふづき

酸漿

ふどづら

百部

ふいを

脯

下〇ナセ

かしひ かしひの
條又在 るゝぎけ 綾 増 るゝきむ 微

笑

五言十一言

るゝがしハ 厚朴 るうしむらびとのつらさ 玄

蕃寮

○志部

一言

志 万 萬 滿 馬 麻 麼 摩 磨 麼 磨 麼 磨

二言

まい 烏牛 むひ 幣 おひ まよ 舞 べへ 前 べ

づ先

三言

まよじ 石交螺 まとね 圓居 まおる まみく
まおん

まぬさう 参 まうで まう 詣 まい ま
まへ 交

ト〇八

まをひ	日	まうけ	儲又設	おぐひ	蹟	おぐひ
紛	まよひ	まよひ	逐	可よひ	純	可ど
惑	まづし	貧	まうと	上總郡	望陀	まこ
纏	増	廻	まねで	ノ音云まうでいまねで 音依ニクレタム		
四言						
まひらを	丈夫	まうた	繼母	まらうど	客	
可ぬさぬ	眼 <small>眼</small>	まふぢり	駝	まどろく	賄	可ゆ
かみ	黛	まじこし	壁帶	まかいと	俎	まどこ
毛	昔	まどあひ	禁厭	可ひかひ	賂	可

ころひ	隨順	ましる	交	おろかひ
擬又賄	可もらひ	おろり	守又護	増
あうひ	眼	まぐり	真細	

五言十言

まとおぼし	司格	可さねづ	真栄葛	おつた
のうへのきぬ	縫掖			

〇美部

一言

美 彌 瀾 未 味 尾 微 弭 寐 民

二言

水	水	水	水	水	水	水
みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ
瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞
ありき	ありき	ありき	ありき	ありき	ありき	ありき
稚	稚	稚	稚	稚	稚	稚
水を	水を	水を	水を	水を	水を	水を
水脈	水脈	水脈	水脈	水脈	水脈	水脈
み	み	み	み	み	み	み

酒をうる	酒をうる	酒をうる	酒をうる	酒をうる	酒をうる	酒をうる
器を云	器を云	器を云	器を云	器を云	器を云	器を云
みや	みや	みや	みや	みや	みや	みや
大和	大和	大和	大和	大和	大和	大和
三輪	三輪	三輪	三輪	三輪	三輪	三輪
みえ	みえ	みえ	みえ	みえ	みえ	みえ
所見	所見	所見	所見	所見	所見	所見
増	増	増	増	増	増	増

坂ノ	坂ノ	坂ノ	坂ノ	坂ノ	坂ノ	坂ノ
みや	みや	みや	みや	みや	みや	みや
姓	姓	姓	姓	姓	姓	姓
三尾	三尾	三尾	三尾	三尾	三尾	三尾

三言

水神	水神	水神	水神	水神	水神	水神
みづち	みづち	みづち	みづち	みづち	みづち	みづち
腮	腮	腮	腮	腮	腮	腮
魁	魁	魁	魁	魁	魁	魁
龍屬	龍屬	龍屬	龍屬	龍屬	龍屬	龍屬
蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟
みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ

髪	髪	髪	髪	髪	髪	髪
みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ
虫	虫	虫	虫	虫	虫	虫
蚯蚓	蚯蚓	蚯蚓	蚯蚓	蚯蚓	蚯蚓	蚯蚓
みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ
鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡
靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴
み	み	み	み	み	み	み

汀	汀	汀	汀	汀	汀	汀
み	み	み	み	み	み	み
操	操	操	操	操	操	操
み	み	み	み	み	み	み
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十
み	み	み	み	み	み	み
参	参	参	参	参	参	参
河	河	河	河	河	河	河

増	増	増	増	増	増	増
み	み	み	み	み	み	み
水	水	水	水	水	水	水
味	味	味	味	味	味	味
みや	みや	みや	みや	みや	みや	みや
姓	姓	姓	姓	姓	姓	姓
官	官	官	官	官	官	官
首	首	首	首	首	首	首

四言

みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
自	自	自	自	自	自	自
み	み	み	み	み	み	み
の	の	の	の	の	の	の
と	と	と	と	と	と	と
三	三	三	三	三	三	三
膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳
み	み	み	み	み	み	み
志	志	志	志	志	志	志
ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ
龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍
耳	耳	耳	耳	耳	耳	耳
み	み	み	み	み	み	み

みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ	みづ
く	く	く	く	く	く	く
木	木	木	木	木	木	木
免	免	免	免	免	免	免
み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ
う	う	う	う	う	う	う
き	き	き	き	き	き	き
躰	躰	躰	躰	躰	躰	躰
み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ
う	う	う	う	う	う	う
み	み	み	み	み	み	み
湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖
み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ

水	水	水	水	水	水	水
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ
が	が	が	が	が	が	が
き	き	き	き	き	き	き
瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞
籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬
み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
し	し	し	し	し	し	し
短	短	短	短	短	短	短
み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ

み	み	み	み	み	み	み
づ	づ	づ	づ	づ	づ	づ
ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
自	自	自	自	自	自	自
み	み	み	み	み	み	み
の	の	の	の	の	の	の
と	と	と	と	と	と	と
三	三	三	三	三	三	三
膳	膳	膳	膳	膳	膳	膳
み	み	み	み	み	み	み
志	志	志	志	志	志	志
ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ
龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍
耳	耳	耳	耳	耳	耳	耳
み	み	み	み	み	み	み

後世消息ヲモ云

五言六言七言

みづぶさき

茨

みをつくし

透標

みづをり

準繩

みづぶるひ

澆水囊

みづく

櫛くはる
ようある

めあみちのおくみちのく

陸奥

みごらをのこしま

馳馬

みとのまぐさ

溝合

増

みかぎらひ

水

立

みづさるうき

古事記傳四十二卷
三十四丁ニアリ

○武部

一言

武年無无鷓務霧夢

二言三言

むべ

郁子

むら

格

むらひ

向

むらひ

むら

迎

むくいむら

報

増

むらじ

姓ノ

連

四言五言

むらひ先

嫡

むぎあき

杆麵杖

増

むらひ

悦

○免部

一言

免采賣馬每梅肺迷謎面咩綿璫

二言三言

免

姪又甥

免

盲又瞽

免

感又愛

四言

免

妻

免のお世めのと

乳母

免のどき

草

免

免りづら

桂

免づら

希見

増

免

免

○毛部

一言

毛母門問聞陶文目物勿茂忘蒙謀望暮墓暴

摸謨木莽牟儻

牛鳴二字

二言

毛

鴟鵂

毛

益

毛

缺

毛

草木芽

萌

毛

燃

三言

毛

黄葉又赤葉

毛

水雲

毛

餅

孟彦之古
言辨勝
ひろみ
もちひ後
作ノ事記
付十七卷
四ノ出系

もちひ

用

もとひ

堯堯

もとひ

基

らひ

賭

もえき

萌黄

四言

もとゆひ

髻

もえくひ

燼

もとふり

旋子

とろし

廻

もよる

催

のふ

桃生

もとろ

備前

物理

増

ひ

委蛇

五言八言

ものぐるひ

癡狂

もぬげがも

蛻

もづとふ

思辞

もひとりのつらさ

主水司

トキ

○也部

一言

也夜耶椰娜瑯楊野

二言

也八重 也八 八百

三言

難	やむを	鰥夫	やむ火	寡婦	やむひ	病	やむを
又	やむび	箸	やむり	鏃	やらひ	やらひ	逐又
やをら	弱	やよひ	三月	やきふ	やきふ	やきふ	揚

生

増

やむを

家庭

四言

やうたご	玄孫	やいづこ	奴	やまゑ	黄精
やまごづ	廣又斧	やぶひ	蕨敷	やいぐし	并
練	やうあひ	養	やうらぐ	和	や
うし	漸	嚶	やまこへ	和泉	山直
やあいつ	津国	楊津	増	やぢらさ	山直
ひ	休	やをとめ	八稚女	やぐらえ	

やうたえ

古事記傳三十六ノ
卷五十四丁二季

五言六言

やをらぐさ

草

黄耆

やまぶら

欵冬

やあ

たこ 楊宮

やうらのひ

八日

やまのりひ

峽

やまのかげぢ

碓道

やまびらき

巴戟天

のへのこけ

屋遊

八言十一言

増

やーやをりのさけ

八醞酒

やー本をりのひ

もがさ

八塩折之紐小刀

○由部

一言

由遊游史度愈喻踰瑜

二言

ゆゑ 湯坐

ゆゑ 故

ゆふ

木綿

ゆふ

夕

ゆひ

ゆふ 結

三言

ゆふべ 夕

ゆくへ

狹か

ゆひを

ゆひを

弭

ゆ

づる 讓

ゆふさ

下總郡

結城

ゆひ

備前々

鞆負

下〇九五

増 ゆづら 弦

四言

ゆふつ星 太白星 長庚 ゆふさり 暮い ゆふり

不夕顔 ゆづるた 交讓木 ゆのあじ 硫黄 ゆ

ぬいり 射 ゆみづる 弦 ゆみづり 附 ゆざら

靴鞆 ゆきひ ゆきひ 往反 ゆさり 齋

五言七言

ゆふされ ゆあ ゆあ ゆふづくよ 夕月夜 増 ゆい

ゆのつぎ 弓端之調

〇與部

一言

よ 與音 豫音 餘音 用容欲譽庸遙

二言

よひ 初夜 よえ 夜 よち よつ 攀

三言

よい 齡 よを 結替 よろ 江々下野 丁

よろ 儀 よろ 節折 よろ 万萬 よろ

よひ 儀 よを 節折 よこ 弱柔 よそ

ト〇五六

ち 四十 ヨ ちみぢ ヨ 泉道 増 よそへ 比 よ ろろづ 針

ナリ
ノ一名

四言

よそそひ よそそひふ よそそへる 上のよそひ 儀 糖 日 よろそひ よろそひ よろそへる

透逸

五言

よむひがし 流星 よろひぐさ 白芷 よちをさし

し 鮎 よ みがへる 鮭 よ しをやし ヨシ ヤシ

○良部

一言

ら 良浪羅囉邏羅樂

○利部

一言

利 利喇黎黎里理離隣

ト〇

○留部

一言

𠄎

留流琉瑠類累盧蘆屢樓

○礼部

一言

礼

礼禮例矣黎連聯憐

○呂部

一言

𠄎

呂侶路露稜魯盧樓漏

○和部

一言

巳 和倭王流音廻輪丸訓

三言

巳らた

童

ふぎへ

吾家

巳らひ

笑

咲 啞

増 巳りえ

作云若ヤ
ギノ古言シ

巳りけ

弊

ふつ

僅

四言

巳らつみ

海神シ後の海
の奥名と云

巳らへべ

俵子

巳らふ

圓座

巳づらひ

煩

煩

巳あしく

惜

巳地

まへマヘ

辨

巳ざらひ

禍

巳きをた

俳優

巳ららひ

活

巳ららひ

伊勢
郡

度會

増

巳

巳づき

脇机

五言

巳らたやえ

瘡

〇鳥部

一言

為委萎位威羣偉渭謂音井居座處猪彘豕亥

蘭率訓 蟬蛸二字

二言

鰻江 渭伊 增おやおやひ 禮。

三言

おのこ 豕 おもり 蛸 おぬるおぬし おて 井提

膝行 おあう 田舎 おせ起おせく 堰埭 おふひ

堰 榎 杵 おさあ 未底 おあべ伊勢郡 負辨 おの

へ河内 井於又 讀岐 井上又 井門 增おうひ

猪井

四言

おさらひ 醫 おのあし 織襪 おてゆく軒街

増おやあし 无禮

五言

おのと、き 赭魁 おのくつおのいひ 牛膝 お

ちごす光 珂字豆

七言

増 おさきのしみづ 地名 居寤清水

○惠部

一言

志 惠衛回隈穢會繪音咲餌訓

二言

あぬ 獸 大 あぐ 菜類 あこ 黄精 あみ あむ 笑

あひ あへ 酔 ある 雕又彫 あそ 能登 越蕪

増 あが 河内 地名 惠賀

三言

あとの 屠兒 あぐ 不 靨 あかく 噪 あぐし

下
1011

醜

をらあらく

悦あ嚏あ

をあり

阿波

殖栗

増

をあひ

咲

四言六言

をみぐさ

女葳蕤

をぬのこぐさ

狗尾草

○袁部

一言

を 袁遠手呼弘鳥鳴塢恐越叫愧廻音男陽夫士
丁雄牡尾小少緒絃麻苧峯岑岡丘侵矣訓呼

啜二字一言
和泉々

二言

をぢ

伯父叔父

をぢ

老翁

をば

伯母叔母

を

ひ甥

をし

鴛鴦

をし

愛惜ハ結

をし

を

食

をそ

懶

をそ

偽ニ

嘘

をぎ

萩

をら

岡又丘

下〇ルニ

孟茂云
ハカウハ
古言橋を
ニ誤リテコ
コニ由セリ

をの 斧 をげ
麻笥 をけ
桶 をま
長 をま
草

をり
居 をり
折 をち
遠 をち

臺 を
應声
をま
郡阿波
麻殖
増 を記
昨云物ヲ
マネキヨ

セムトスル
解ヲ云シ 招 をえ
病
瘁
を更
節 をづ
昨云何ニテモ禁ノ所
カヘルノヲ云云
名伊勢地

三言

尾津 をこ
瘵 をち
昨云何ニテモ禁ノ所
カヘルノヲ云云

をとこ
男 をふと
夫又智 をぐ
童男

をみ
女 をとめ
少女又奴女又處女 をま
をさ
の長
女
をどり 雄
をどり 媒鳥
をどりをとる
踊

又 囉
をら
蛇
免
をこ
鱈魚

をさし
蝦
をり
木
を
尾花又男花
をが

む
拜
をさむ
治又修
をへ
教

を
可咲
を
愛惜
を

うつ日
現
をり
終
をり
尾張
を

強河 他田
を
信濃
小内
増
を
万葉集ニ
花サキヲ

盛
雄略
を
を
を

を
を
を
を
を

尾
上
を
小糖
をのへ
山

下〇三

昨々時延
 ハ時をクッ
 ツク一ツ云
 詞之折蠅
 ト昔カニ
 下

田言

をむかふ	母	をさかし	稚	をぎむし	蚊蟻	を
りつら	楓	をりりた	韋	をちく	専	をこけ
ひなま	雄誥	をのく	懼	怙	をやつひ	
前日	をくし	前年	をりへ			
増	をらちし	劣又微弱	をどり	麻環	をり	
地名	小治田					
五言	至九言					

時延
 武藏郡
 男衾
 孟度云古言物二時合トスルハ遠ヘリ
 彼此

をみかへ
 娘部志
 をとくし
 赤箭
 をりこ

と地
 苜蓿
 をりつら
 茵芋
 をとこかしら

幢柄
 をさむるつらさ
 治部省
 をさめつくる

つらさ
 修理職
 増
 をやらふる
 飲喫
 をちとる

のき
 古今集物名
 二見ユ
 をてらあめ
 彼面此面
 二月

一〇五

文化四年五月刻
同 十三年八月訂

尾張 市田孟彦藏板

雅言假字拾遺

市岡猛彦著

○安部

二言

あへ

アハセノツマニリ 阿用合

あぶ

宇崩岸也

阿須

埴

安受

阿を

越中地名

阿

安乎

阿

雪ノア
はニアル

あ

横津地名

安威

帳

阿爲

あへ

伊賀郡名

又姓

雲ノ阿をハツナド云あをナリ 阿雪雪者安幡爾勿止洛云云
今ア雪滅多物名うさめとハをそめとのくそこのうれゆくまのあはのま

阿拜組 阿用

三言

あまぢ天路之 阿麻遲古 あとは神号又越前郡名 阿古

須波姓又信濃郡名 あつと姓 阿曇地名古 あぢふ撰津地名

紀 阿臧賦續 鱖生地名古 あつと地名古 小豆嶋紀 阿豆

枳辞摩遠江地名和安乎多 あをた遠江地名和安乎多 碧田古 あわに古

沫緒荒岳ナル 阿理表和安乎多 あこつ地名古 蜻蛉古

阿岐豆和一字兩訓在鷹之向之乎在犬之岐豆奈 あしを地名古

寧阿乎奈 あま蔓 松菜紀 其蕪昔

あま師曰物ノモロクハカナキ意ク 阿摩比尾張尾 あづ地名

阿豆良

四言

あらし師曰あくりを延々詞ニアカラムト云ニ曰シ 阿加良良紀 あぢま

さ古阿遲麻佐 擯擲地名古 あぢま地名古 阿遲摩佐能

志麻罪名 あづな罪名 阿豆那比之罪地名 あぢはぬ地名

安治麻野義濃郡名 あはちはあぢ 安八磨和

安八 あはち 和 詔良比 古 詔

阿さばま 大和地名 阿佐豆腐 あさぎ 吉柳

安乎揚疑 あさけり 糾之 紀 阿藏播梨 あは

ぬく 相貫 安倍奴久 あぢかま 地名 阿遅可

麻 あつと 字 阿豆波比 煨 あま 字 阿奈於止 洗

あをうは 文 青馬 あをむ 枕 あ 青幡 あ

かろ 室 阿井 装 あをさば 和 阿乎 鯖 あ 和

阿之太 展系 あふさ 地名 安布左可 逢坂

師曰白馬
節會
青馬トモ
云ハ白馬
ヤカラ青馬
ト云ハ非
是ハモトハ
安主青馬
三白馬

駿河和安布保之 會星 和 阿義以太 復輿

あをさ 字 阿波久佐 連 翹 あ 足摩

足受利 あどくま 地名 阿自久麻 あは

不逢 安波受麻 あ 地名 阿閉嶋

あわさぎ 神号 固 沫那藝神 あは 師曰

露ニスル意 阿波多志

五言 至九言

神号 固 脚摩乳 あづけ 固 阿豆

佐由養

梓弓 あまづらふ 枕行 天傳 あさかいは 枕行

秋柏 あきく 枕行 青角髪 あきくらは

朝不去 安佐左良受 あささは ハフナギス 安夫

左波受 ありがらひ 在通 安里我欲比 あ

が 色ツキタル 安可良我之波 あさうまは

阿乎字奈波良 あめれおし 天忍日命 天押日

阿めれうどあ 神号 天之宇受賣命 阿めれうち

神号 天之狹土神 あひこも 洗衣 安良比

其呂母 あさぶめは 浅藤原 阿佐士怒波良

あけのさうひ 和 阿奴賀 鋌 あひねのは 地名

阿比泥能波麻 あははは 顯露事 あ

あひひち 神号 阿斯訶比古遲神 あはらち

神号 葦原色許男神 あめれおし 天壓神

あまはせづらひ 天馳使 阿麻波勢豆加比

あさむとせけ 酒ヲス 阿佐受表勢佐佐

あめひのささ 足結ノ小鈴 阿由比能古須受

阿波のいさくら

固 天之石位 固 天磐石座

阿波のいさくら

固 阿波加伎夜麻

阿波のいさくら

阿波のいさくら

字阿比牟須比 波如留

期

阿波のいさくら

固 青

摺衣

阿波のいさくら

神号 固

阿遲鉏高日子

根神

阿泥素企多伽避顧祢

あをぬはぬあ

ひめ

神号 固

青沼馬沼押比賣

○以部

二言

イ

家ノ東語 固

伊波

イ

助辞 固

伊自

固 伊

イ

入昆古入異賣 固

伊理

いさ

固 伊佐又鯨

勇魚

いさ

勇 固

伊佐

いが

師 事

記傳十九ノ固

伊賀

い

筑前 固

怡土

伊斗

いけ

土佐ノ地名ナレシ固

このいけといふ所の名なり

いぬ

出雲 固

伊努

いた

甚痛ナト固

伊多

三言

師曰俗ニ煙ナドノイフト云ト曰クテ凡テ物ノオボロニシテ
アキラカナラザルヲイフ言ナリ

伊穂理 人ヲ誘フ 伊射西 西 伊佐西 西

伊頭敞 大和地名 伊波瀬 近江 伊雜 和

也河 紀國 絲鹿 志摩 伊雜 和

伊射波 地名 伊香胡 和 伊那陀 和 壹

師 近江 伊服岐 和 伊那陀 和 壹

嚴免 和 壹師花 和

但馬 和 出石 和 伊豆志 和 伊自牟 和 伊那陀 和

下総 和 印波 和 印幡 和 伊磨紀 和 今

城 和 伊保敞 和 稻置 和 又 稻城

越後 和 以木美五公 和 丹後 和 伊曾布 和 射漆

五百 和 伊本知 和 伊保知 和 伊佐留 和

筆 和 伊敞治 和 何 和 伊豆良 和 伊良虞 和

上野 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊奈久 和 伊可保 和 伊豆良 和 伊良虞 和

伊豆美

いづれ

大和地名

以敷例又磐余

いりま

大和地名

固 伊那佐

いづち

地名

伊久治

いづま

地名

伊久

理 いくひ

齋杖固

伊久比

いそほ

地名

伊素末

志 いそき

岩末固

伊波紀

いそり

姓

伊蘇

固 伊觸

伊波都流舟。伊波比。伊蘇比。副イソノ類ヒイト多し餘ハ准ヘテ知シ

痛手

いひが

固

飯粒

いよま

師曰人ヲ深クムツミレム竹ク

固 伊力古

やくは

的ヲ云又姓固

的

いそえ

姓固

生江

いとわ

姓又但馬地名

系井

四言

いづひ

神号固

活杖神

いづの光

神号固

伊豆能

賣神

いづつら

神号固

盤土命

いぬむめ

神号固

伊怒比賣

いぢひる

大和地名又姓

伊知比尊

櫛井

いひご

伊勢郡名又姓

飯高

いぢはら

駿河郡名又姓

五百

原 廬原

いそあし

姓又備前郡名

石元

磐梨

又石生

いぬのこ

近江郡名又姓

犬上

狗上

いんむら

家群ノ固 伊幣年良

いんぎ

稻幹ノ固

伊那賀良

いんぎ

紀國地名固

廬前

いんげん

伊豫地名固

射狹庭

伊佐尔波

いんげん

家裏ノ固 伊

敬豆刀

いんげん

紀國地名固

磐代

いんげん

大和地名固

伊社箇波

いんげん

古事記傳十九固
ノ卷ニ論アリ

伊基能布

いんげん

越前地名固

伊都波多

いんげん

重日ノ固

伊柯之比

いんげん

ひふ

地名固

伊致寐姑

いんげん

行幸ノ固

伊提麻志

いたろ

固 磐船

いんげん

色普ノ固

伊呂豆伎

いんたぬ

對馬地名固

伊波多野

いんげん

山城地名固

櫛原

いんげん

固 伊都加斯

五可新

嚴樞

いんげん

固 伊佐々古

鮟 いんげん

固 伊利加世

當々

いぬ

固 伊奴時母

いんげん

射ラレタル猪ノ固
鹿ナトヲ云

所射穴

以由

之々 いんげん

固 射目人

いんげん

固 伊志波

志又伊
奴支

いんげん

固 伊夏甫流

いんげん

固 伊都

我里

いんげん

師曰驚テ云走ル固
サニヲ云ナリ

伊須々岐

五言

いしくむとひ

神号 廻

生産日神

廻

伊久魂神

いととひあ

神号 固

石巢比賣神

いぢきしほ

ましま

神号又 固

市寸島比賣命

廻

伊都伎島

いぢ

ささけ

神号 固

伊奢沙和氣大神

いぢりま

地名 九 固

伊知遲志麻

いしほ

石推 固

伊斯都る伊

いしちかこ

嚴弟 固

伊箇之保虛

いぢりま

田中道磨曰
今近江彦

根ノアタリニテチサカキト云ホアリ是ナレシ尾張ニ入固
シラキケ美濃ニテハビキカキトイヘリ

伊知佐加紀

いそのおえ

固 伊乎能

伊乎能

いそよしき

固 伊波子

簡

いひしたま

固 以比之

大美

算

固 犬和良比
又云山和良比

狗脊

いのぼろ

地名 固

五十師原

いひほろ

固 伊比保
己留

誇

いものきそ

固 伊等乃伎提

いづてま

固 伊豆

手夫祢

いむじろ

枕 固

伊奈牟之呂

固 伊儺武

斯廬

いそり

枕 固

伊波波之流

いそり

枕 固

家鳥

いらむろ

固 伊良加

奈志

いひか

固

伊比加
志久 輝

いほやま

大和地名 固

伊故麻山

いしたや

古事記傳土 固

伊斯多布夜

いびづ

言 固

日豆

良賓

いひよう

因伊比
守く 饑

いそくやま

因 以

播區娜輪

六言

いしきりどめ

神号固

伊斯許理度賣命

いそまが

むめ

神号固

石長比賣

いそひま

神号固

活津

日子根命

いそこぶめ

神号固

氣吹戸主

いそ

つのと

神号固

石筒之男神

いそねさく

因

伊波祢左久美

いそねさく

遠江地名因

伊奈佐

保曾江

いそらむ

讚岐又名
固

飯依比古

いそらむ

れふ

字伊支度保苗
又伊大弥宇礼不

慎

いづのかさ

因

怡途能伽辞

離

七言九言十言

いづのとらむ

神号又固
叙名

伊都之尾

羽張

細

稜威雄走神

いそむら

因

伊佐左

村竹

いづた

懸居翁ノ祝詞因
考ニ委シ

伊豆

都志伎事無久

いづたまさきたはむめ

神号固

活玉前玉比賣神

くわめりくまひり

垂仁天皇

固伊久米伊理毘古伊佐知命

○宇部

二言三言

え

姓

宇南

うな

姓

宇自可

うみか

津国地名

固宇奈比

うなひ

姓

固宇加比

うかひ

固

畝尾

うしろ

固

宇波毛

四言

うひぢた

神号

固宇比地逆神

うきじ

蓋結

宇伎由比

うきゆひ

固

于樓該臍

固

宇流鈎

。土

うづはきうづとりはき
麻呂豆麻佐云禹豆母利
麻佐皆盈積之貌也
うづ

か
師曰高キ
潮トキコ 宇頭之保
うちうひ
お替之 固 宇知

可比
うはさけ
枕詞 固 宇磨佐 固

五言

うぢとやき
イチヤキト
云ニ同シ 宇治方夜伎 固 迺遺
うち

えする
ウイヨ
スル 固 宇知江須流
うせがひ 固 赤背貝

うそつく
上ノ国 固 羽播豆矩你
うぢはやま 地名

固 宇治間山
うえとせ
固 宇江
不世利 瘠卧
うふひがは

越中川名 固 宇奈比河
うちのはせ
固 宇知
阿波世 うけひがら

誓狩之 固 宇氣比餓利
うはみくひ 姓 固 馬御撒

うちをひ
お拂之 固 宇知波良比
うらまひ

固 宇良胡本斯 固 宇良胡非之
うきどほり
古事記
傳十五

卷ニ委シ 固 宇岐士摩理 固 淳渚在
うさゆばら
師曰カケ
替ニ置

弦之 固 于磋由豆流 固 宇佐由豆苗

六言八言十言

うはづれを
神号 固 上筒之男命
うをのふはと 固

宇乎乃
奈万須

うくひとのきぬ

固宇久比須乃
岐乃美

鸚實

うはわいびんごぢ

神号固

宇麻志阿斯訶

備比古遲神

○延部

二言三言

えいえけむ

固

曳之又 曳雞武 固吉

えぬま

加賀郡名

又姓固

江沼 固

江渟

えのわ

地名又姓固

朴井 固

榎

井 えのみ

固

榎實

えひめ

伊豫ノ固
又ノ名

愛比賣

えちづ

津国地名固

得名津

えかめ

固江加女

龜

四言六言

えのうは

安藝
川名

可愛之川

えやみのかき

衣也美
乃如美

えひゆらむ

衣比万良虫
又止加攷

瘡鬼

○於部

二言

おひ

於此一言波万久利 貝母

おや

鷹乃 於

保爾

おや

大和地名又姓

意富

太

多

飢富

今本飢
飯ニ誤ル

おや

出雲郡名
又姓

意富

於保

三言

おほち

大道 於保知

おきそ

信濃地名

奥磯

おしそ

短羽也於之波

おちき

筑紫地名

大城 おち おちせらる 生し固 於保之又於保

世流 おち おちせらる 位階ノ正ノ師ノ歴朝詔詞解ニ委シ和名鈔ニ正於保伊從比呂伊トスルハ

後ノ音便 おち おちせらる 和於八木 齊高 おち おちせらる

磯辺ヲ云 おち おちせらる 東語ナリ 於思蔽又於須比 おち おちせらる 固 押

齒 おち おちせらる 和齧ハ齒重ナ生也於曾波 齧齒 おち おちせらる 姓ノ師曰オフ

大ノ意く固 おち おちせらる 凡 おち おちせらる 仁賢天皇固 意富祁命 おち おちせらる

ちみ おち おちせらる 古事記傳四十固 意富美 おち おちせらる 釣名固

於煩鉤 おち おちせらる 師曰織ススオルヲ延テオラストモ 固 於呂

須 おち おちせらる 漏サズナリ固 於知受 おち おちせらる 大峽く

固 意富袁 おち おちせらる 大石く固 意斐志 おち おちせらる

み おち おちせらる 師曰重ク此軒舞キ物ニスルヲ云俗言ニ大切ニスルト云コトナリ此言ヲ常ニハおもひむるト云ハ音便ニク

ツレタル言ナリ おち おちせらる 重美

四言

おもごる おち おちせらる 神号固 於母陀琉神 おち おちせらる 神号固

於美豆奴神 おち おちせらる 神号 大綿津見神 大山津見神

大物主神 大國主神 ナドノ大皆固 大年神 おち おちせらる 固 大

臣 おきこたが

姓又近江地名

息長

お保きさ

姓又豊後地名 於保伊多ト固

大分 於保岐陀

碩田

おとくた

山城郡名 於止久途

乙訓 弟國

おひ

かぜ

師曰負風ノ義 固

順風

おひづく

老ツク 固

於伊豆久

おもかこ

面形 固

於毛可多

おも

かつはら

師曰人ト相對テ櫛ヲオソレズ面ノ強クテ髪又ク今ノ俗云ニ人ニ押勝者ヲはむがらむト云モコレヨリ出タルヘシ 固

面勝

おちみわ

固

意富美和之大

神 大神神社

おきく

師ノ大被後叙 固

置

座

おちと

固

夫人

大刀自

おちろか

オロソカ

ナホザリナド 固

於煩呂加

飲明呂伽 固

怠緩

おもへ

面ノケレキニテ俗ニ云 固

顔色ナリ

面幣利

おひそや

負箭

於比曾箭

おちやけ

大和地名 固

於哀野該

お

あち

押手魚

おちゆか

おちゆかを云々

おちどき

師曰 於保賀米 固

於母自岐

お

あかめ

於保賀佐

おちりけ

於保多々

竹淡竹

おち

ほろ

固於保豆惠

榛

おみのこ

固

臣木

おし

おし

押並く

推鍋手

おちぬき

大麻固

大奴佐

おちくち

枕詞固

大口

おちくち

姓又枕詞固

大伴

五言

お保とみぢ

神号固

意富斗能地神

おち

お保比

神号固

大直毘神

おもひ子

神号

固思金神

おまはかる

神号固

奥疎神

おちくち

大工固

意富多久美

大匠

おち

ひつ

固

於母比豆麻

念妻又思妻

おち

おち

固大被

おちを

枕詞固

意布

表余志

おちか

大河原固

意富迦波

良

おちが

面寝固

於毛我波利

お

おち

固於保豆々美

大鼓

固

於尔和良比

殷孽

おきつ

枕詞固

於岐

都登理

固飢企都鄧利

おひく

固於比

不久呂勝

お保あらしき

大和地名

大荒城

おもひくさ

思草

おもあらしき

思

於母保之伎

おとむす先

和於与比沼岐

踏

おとむす先

弟娘之

於止牟春女

六言

おとむす先

神号

於勝山津見神

おちか

おとむす先

固

意富加牟豆美命

お保やほらしき

神号

大山咋神

おとむす先

機織女

固 於登多那婆多

おみのをせしめ

臣之嫌子

固 於美能袁登賣

おちみさしめ

師曰大御堂ト云義ナリ

固 人民

おやどころろ

固 同心

きつかど

固 奥津鏡

おとむす先

隱伎

固 忍許呂別

おちみさしめ

固 於保美阿加之

燈明

おくとおもふ

固 奥尔念

おもひし

るるえ

固 念之奈要

おちあらしき

晨也

加止支又

阿志太

昕

おとむす先

固 於毛氏

酢

七言

おちおとのおしを

神号固 大事忍男神

おち

おほしとひおちおちとまきとひめ

神号固 大戸

惑子神 大戸惑女神

おきつるかひひるく

神号固 奥津甲斐辨羅神

おきつらひひめ

神号固 奥津島比賣命

おちとほるわけ

大島ノ又ノ名

固 大多麻流別

八言

おきつあきさひひ

神号固 奥津那藝佐毘

古神

九言

おちかぐやほとみ

神号固 大香山戸臣神

おきちののり

神功皇后固 息長

帯比賣命 氣長足姫尊

おききのたま

おき

古事記傳固 四十卷三委

押木玉縵

十二言

おやうしひまおしるわけ 景行天皇固 大帯

日子淤斯呂和氣命 大足彦忍代別尊

あさかがうしひむろぬり 舒明天皇 息

長足日廣額天皇

十六言

おやうしひまおしるわけと 孝安天皇

固 大倭帶日子國押人命

○加部

二言

かづかぢ 穀禾方 固 可頭乃木 加伊 固 加伊

樽

三言

かはふ 地名 豐前 固 加波流 和 香春 加ひぬ 山城 地名

固 加豆怒 加さぬ 大和 固 伽哆韋 かはぢ

川道 固 可波治 加ほや 上野 固 可保夜 かせひ

因加世比 罽 柿 加へる 越前地名 罽加倍 留鹿蒜

加通須 加らる 反 罽 加敝之 罽 加通須

からを 罽 加良乎 罽 泉 同 加へる 河内 罽 河泊豆 又 加波度

かきそ 罽 堅磐 加はび 川辺へ 罽 可波備 加 罽 加伊志 鶉

わさ 古事記傳 罽 訶和羅 加へる 師曰カレハト 罽 名ニハ非ス何レノ樹ニマレ 罽 食ニ罽 拍 罽 箇始婆葉 用ル葉ヲイヘリ

四言

かろは 河内地名 罽 片石羽川 罽 片塩 加らほ

ひ 罽 加礼比計 椽子 葛 罽 可良保比 加さひ

け 罽 加礼比計 椽子 加まきは 罽 加美岐波 髪

際 罽 加波加米 罽 罽 罽 河加女 罽 加じひ

う光 罽 加波加米 罽 罽 罽 河加女 罽 加じひ

師曰食向 罽 加牟加比 加はそひ 川副へ 罽 罽

鯨沂比 加さぶく 罽 加多夫祁理 罽 可多夫氣

婆 罽 傾 加はむひ 地名 罽 笠縫 加きかひ

蠣固 加岐賀比 うへらふ 固 還比 加しそら

大和地名固 加志波良 かこらふ 越中川名固 可多

加比我波 かひわ 下總郡名固 可豆思加 かぢ

くま 川隈固 箇波區葦 加不_レ吃_レ 固 麗美

麗又艷妙 固 可抱与吉

五言

のそまきこみ 固 皮疊 かくさそぬ 不隱く

固 加久佐波奴 かひつまき 使ノ人ノ還テ申ス言ト云 意ニテ及リハ其使ニカハル

言_レ固 還事 固 復 かたらはる 却固 加敝良末

尔 かろか 固 加良可之波 草麻 かま

ろち かろち 固 加弥於保地 高祖 かきこうそ 枕_レ固

可伎加蕪布 かきか 固 再病加戸利也弥 瘻

こみのとと かみ 固 加美乃須惠 髻 かほ

固 加波志久佐 湖

六言

かぜをひこ かぜ 固 風乎疾又可是乎伊多美

かむくくく

神号固 神活須毘神

かこらひ

かこ

語種く

可多良比具佐

かこほらちひ

良保祐 脇肋

七言

かぐやほせおみ

神号固 香山戸臣神

かこら

かほほら

乃加波良 顧

八言十言

かむおやしちひ

神号固 神大市比賣

かきげ

はわけのおしを

神号固 風木津別之忍男神

かむや

はといはれびこ

神武天皇固 神倭伊波礼毘古命

〇幾部

二言

㊦

地名固 岐用

㊦

来経方固 岐用

㊦ 岐布

三言

㊦

㊦ 霧相

㊦

㊦ 枝加比 錯

㊦

出雲地名固

支豆支

㊦ 杵築

㊦ きはわ

㊦ 支波井 齋

四言

㊦

著具方固 岐蘇那布

五言

㊦

㊦ 岐毛牟加布

㊦

㊦

支太比加称 鑼

六言

㊦

神号固 蚌貝比賣

㊦

㊦ 支曾比加太利 詰

㊦

㊦

此きまゝノハ八種ノ音便ナリ
后宮

〇久部

二言三言

くへ

垣くへ 因

久敬

くか

聖くか 紀

玖訶庵

くひか

字久比井

此

くほわ

因阿回

四言

くひはむ

字久比波牟

馳

くひむと

字久比々須

蹠くむ

のど

樂

久美乃遠

くどひぬ

日向国又々名固

豊久士比

沼別

くほしめ

師曰麗くほしめ 女ト云固

久波志賣

くえびと

神号固 久延毘古 雲ノ立サキテ八固 久毛登

韋 常陸ノ川名固 久慈我波 セテ居ルヲ云 くらさし

垣越之固 久敬胡之

五言

くらおほひ 固久良於 鞍帊 地名固 孔

舍衛坂 保比 くらさし 固 絡反 和車具也久也 くらさし

於保比 教申徒 固久比波 類 枕詞固 雲居奈須 神号固 久比奢母

智神 神号固 閻於加美神 劍名固 久夫都都伊 くらさ

くらさ 神号固 閻於加美神

六言

くらさ 日向地名固 久士布流多氣 くらさ

かひ 固比也某乃 鮎 神号固 擲石窻神 神号固 くらさ

神 固久礼乃 弥く受 蚕 神号固 擲石窻神 神号固 くらさ

七言

くもれおこまひくものうらまひ

區茂能於虚奈比

けあうらうと

圍覆也久豆加戸利不須

面足

くもものうらま

毛乃伊不註

○計部

六言

けぬのいぢらひぢぬのぢぬの

龜のよのさぬの後登りぬの

七言

けはうくさか

字々波志久左加志

○己部

二言

まふ

筑前固地名

故布

まぬ

師曰今日之固

許布

まど

固 拔固

許士

固 許自

三言

まくは

木鑿固

許久波

まつみ

木屑之固

許都美

まぐち

越道之固

故之治

まはら

日向地名固

古

波陸

四言

まひくさ

固

戀草

まほしき

戀固

胡本斯

固古

保志枳

まわら

字已和須固

嗽

固古

萬布江 簞

まえはら

固古江豆知

塙

固古

於与比 季指

まろけえ

噴固

許呂婆要

五言

まふら

固

己以波奈太

ましまつ

腰煩也固

許

斯那豆牟

六言十一言

まゝおろは

言ヲ尾ニ
延ルナリ

許等於呂波漱

まゝおそ

し 心鈍

あろもれくひのもち

園己呂毛乃
久比乃毛止保

志 衿

○左部

二言

は保

大和地名固

沙本

三言

さつ

姓固

佐和良

さつぬ

姓固

佐自努

さつひつ

紀國地名固左日鹿 雜賀

さつと

固

佐都雄

さつはら

物ノ多ク固 佐波太

四言

さどろ

神号固佐士布都神

さひもら

固佐比

持神

さうひ

姓固

坂合部

さしあ

差交固

佐斯迦閉

さをばし

橋名紀

佐烏磨志

はるほ

固佐留保々

獲兼

さどとけい

固

佐度波須

さかみづ

姓又酒ヲ云

酒肴都

さうほひ

固

酒幣

さばら

サリ固

障良比

五言

さくらをさ

小菰固

佐左良乎疑

はみづ

宴楽固

佐可弥豆伎

固

佐加美豆久

六言七言

はゆぎみ

固佐和支弥太

固又開

さこのは

しふ

固左加奈豆々志

固

○志部

二言

志月

師曰俗云ニ物ヲ惜ラ 固之波

志は

志は

師曰物ノ終ラ云年ノ終ノ月ラハストマテ

極月ト書 固

志波

志ひ

姓 固

志斐文

三言

志はつ

山ノ名 固

四極

志ろ

志ろ

地名 固

鹽津

志はせ

地名 固

師番迫

志保く

固

志保々

志ろぢ

志ろぢ

詔 諺

治 志ろぢ

固 斯豆迷鎮

志ろせ

朝 願之固

斯本勢

志ひ

姓 固

志比陀

志保ひ

固

之保美

志ろは

遠江地名 固

志苗波

四言

志保つら

神号 固

塩推神

志はぢれ

救 固

之波夫

礼

志ろえぬ

シラシヌ 固

之良延奴

志ろゆひ

固

進

退 志ろがへ

下心ニ思ヒオク 固之多波安倍

志ろへで

固 後

手

固

志理幣提

五言

ちびにおひ

繁生之

之々尔於比

ちづこゆき

因倭

支手纏

ちてたをささちてのこをさ

郭ハラ云

之天

多乎左

ちけりあひ

之之収利安比

ちぐろくろ

繫釧之

穴串呂之

矢自矩矢盧

ちろくちゆ

昨曰チハ坂路ノ

コトタユフハ平ナラフステモク低ク上リ下リ

志那陀由布

ちぢひ

ち

物ノ食合

四具比相

ちかぶらひ

之

之可夫

可比

ちくちもの

枕詞

四時自物

八言

ちりいづるやまひ

之利以豆腕

夜萬比

脱左

十言

ちかこおきそくろく

志太加太於支天宇豆頰

其拳

〇須部

二言三言

とと

固 箕

ととあ

糺方固

須惠幣

四言

ととひぢん

神号固

須比智迹神

ととろひ

スリ固

須須呂比

〇世部

六言

せおつらひめ

神号固

瀬織津比咩神

○曾部

二言三言

そほ

大和地名 固

層富

そほぶ

又 固

曾褒遲

そほり

地名 固

曾褒里

六言八言

そぶつのと

神号 固

底筒之男神

そぶくれひふ

くい

紀

猿肉之空國

○多部

三言

たゆひ

固 手結

手纏

たゆひ

越前 固

田結

固 手結

たごり

志摩 固

答志

ごちひ

虎枝又姓 固

多遲比

固 丹比

四言

さち保

日向 固

多可知保

さくまは

固 栲繩

こは

わさ

戲業 固 多波和射

たわらば

母ノトナドノ手ヲハナレ又蘆ヲ云

多和良波 たの保 雪穗 たくさうり 土器ノ名

多衢餌離 たづろり 手装ノ 拖豆矩梨 あはの

と 玉緒ノ 多麻乃緒 たちおふ 圍太知於布 佩

五言

たまらばふ 靈幸ノ 靈治波布 たふづく 疊著ノ

固 多多那豆久 たまげき 玉簾ノ 多麻婆波伎

多ららるる 詞詔 多豆何奈伎 さかすいぬ 大和地名

固 多加佐士怒 たつらづる 手東哉ノ 多都可豆

惠

六言九言

こけみらうち 神号 武甕槌神 こわやがらみか 手

弱肘ノ 固 多和夜賀比那 たつのいくこ 圍太豆乃 龍膽 伊文佐

さくらほまつく 圍太知豆 蹴然 くららひれみづは

こけ 及正天皇 多遲比瑞齒別天皇

○知部

二言三言四言

ち

固千重

ちはひ

幸固

千羽日

ちかへ

神号

固

道反大神

五言六言

ちひさこ

姓固

小子部

ちかつあま

固知加律阿不三

近江

固近淡海

ちひささあけ

固知比佐木古め

石衣

○都部

三言四言

つら

蔓草固

都豆良

つら

固荒字

急居

つね

袖号固

角杵神

つね

娉固

都麻杼

比固孀問

つね

固豆伊久志

梶

つね

固豆礼

儼

五言

つら

固車具都知波良非

乘泥

つら

固豆久利美

漿 はくはく 詞 団 都々麻波受 はくはく

祝行 団 杖不足

六言七言

ついでちみ 團豆以此和伊大 諭 つらういともむ 團造也衛也豆久利

以止奈牟 營

○天部

四言

てふづち 神号固 手名椎 てらけひ 固 天良佐

比

○登部

二言三言

止豆

伊豆地名

止豆

約リ

登布

止豆

伊豆地名

刀比

とら

蝦夷地名

問菟

四言

とら

長命人

等保臂等

とら

遠除

等保曾吉

とら

手緒

五言六言十一言

とら

神号

時置師神

とら

とら

登富登富斯

とら

遠方人

登保都比

等

とら

枕詞

鳥往

来

とら

遠神

とら

神号

豊石

窻神

とら

橋

等伎自久能

可久能木實

○奈部

二言三言四言

ふち

留猶トアルハ借字ナリ

黙

ふ保と

固直

ふぐく

在經

固奈我良倍

ふぐく

流之固

流倍

ふけふ

固奈

氣加布

ふぐは

固名細

十言

ふくえのはくのくさひ

固奈加江乃波

志乃久佐比

靦

○爾部

二言三言

小は

尾張郡名固又姓

丹羽

小ひわ

近江又波河地名

新

居小ひわ

遠江和爾井地名

新井

四言五言

小ひくち

新草之固

仁比久佐

よごさ

伊豫地名

你枳陀豆

小はしとめ

庭雀之固

尔波須受米

○奴部

三言四言五言

ぬづち

神号固

野椎神

ぬむたまうそむ

枕詞固

奴婆多麻

ぬとほひ

盗固

竊舞

ぬまかふ

固奴利於保不

慢覆

○祢部

三言四言

祢トろ

葛ノ根ノ白キヲ云固

泥士漏

祢トふ

固

根蔓

固 泥婆布

祢トふカて

固短面祢古於毛氏

頤

○波部

三言四言六言

はら

散固 波布理 まやまへ

固 速贖 まひのこ

字

波比
乃木 櫛

まろく

山城地名固 波豆賀之

羽束

まぶゆ

固

波士弓

まふび

固 畚虫

固 波府虫

まふくど

延葛

固 波布久受

まふつゝめ

固 稜具

○比部

三言四言

ひ

固 比々古 曾孫

ひく

疼 固 比比久

ひづち

物ノヌルヲ云

比豆知

ひはがそ

固ひとつ固ひはやう何しモ細ク
タヲヤカナルコトヲ云

固 比波煩曾

五言六言

ひとまきぬ

固 比止用 岐沼

單衣

ひささうふ

固 比支字

根

ひらきこのあそ

地名

固 比治奇乃奈太

むかしのいと

此保之乃以乎

炒債

ひきかてしゆ

此支并天由久

携

ひぢりさ

あめ

此知可左安女

八言十言

むさひのめり

此首服也頭巾也此太比乃加々保利

憤

ひくらさめや

ひろあま

此々羅木之八尋房

十二言十四言

むさしごのそのれま

神号固比々羅木之

其花麻豆美神

ひあつてぬらさびちといふ

神号固日名照額田毘道男伊許知迹命

○不部

三言四言

ふぢふ

地名 匱

不知不

ふぢつね

神号 固

布怒豆怒

神

ふるほひ

匱 振麻比

ふぢしる

地名 匱

藤白

ふくほろ

會 匱

布敷麻苗

五言

ふさふさどり

多ク折之 匱

布佐多乎里

ふさぎらふ

舟競 匱

布奈藝保布

ふさやもひ

匱 非

奈夜

苦船

九言

ふはのもぢくぬとぬ

神号 固

布波能母遲久

奴須奴神

○閉部

三言

へふひ

固 戸奥

六言

へつうひるるる

神号固 邊津甲斐辨羅神

○保部

三言

かをる

神号固 火遠理命 地名固

呂遲

かぢひるる

原曰ホギヲ延固保加布祠 固
タル言ナリ

保加比

四言

ちころ

固 富己呂倍

五言

ろりおきと

字保利於己須 綴

○麻部

三言四言

まろち

浦名

松帆

はあひ

字万安比眉間也 包也類也額也

顔

まごひ

詔 待比

まごもの

字万自物

壓魅

まごつ

古事記傳世五古 世三丁ニ論アリ

摩佐豆古

まをこも

真小荒之 麻

乎其母

はとくか

固 真男鹿

五言

まへつぎと

原曰まぎと又まうちぎとナド訓ハ 後ニ類シタル唱ヘニテ正シカラス

魔敵菟

老目弥 固 郷 **はろびあひ** 雁 万吕比安比 **まろい**
よし 翻 万太伊止古 **三從兄弟**

○美部

二言三言

みち 渡河紀 固 見穗又三穗 **み** 伊勢 固 三重 **みつ**

水著 固 美豆久 **みか** 祝 砥扣

四言五言

みつ 固 水蓼 **みつ** 神号 固 弥豆麻岐神

みや 地名 固 美夜白吕 **みやつ** 官在 固 宮都

加倍 **みつ** 枕行 固 美豆多麻流 **みけ**

御食向

六言七言九言十言

みづやめくた

因

美豆保國

みちれくはわ

因

道之阿

回 みつかりしは

因

御細柏

みちのちがちは

神号

固 道之長乳齒神

みをひまのふり

因

美乎比岐

水

脉船 みまつひまかゑし祢

孝照天皇

古

御真津日

子訶惠志泥命

みまきふみひまひり

崇神天皇

固 御真木入日子印惠命

○武部

四言五言六言

むつつを

向峯

牟加都乎

むしるる

因

牟志 藿

むまごをひ

因 甥之子為離孫

男 無萬古

乎比 女 無萬古

むごを

くひ

因 須久比

筑籬

むつおを

因 無豆 於乎非

駢拇

むら

いそ

地名

牟良自加己獲

○兔部

二言四言

兔

越中地名

賣比

兔

師曰兔

女軍

○毛部

二言三言四言

毛

大和地名

毛受

毛

水曰古ハルテ飲ム

毛比

毛

本方

母登幣

毛

物ノ多キヲ云

暮能婆幡

○夜部

三言四言五言

やとひ

安寝之固

夜周伊

やはつと

固

夜麻都刀

やともし

固

休息又安母布

ややくし

枕行固

夜本爾余志

やいほむぢ

神号固

八島牟遲能

神やふしまり

八節結固

夜布士麻理

やはつと

山ノ蔓固

夜麻都豆良

六言七言

やいほぬえ

神号固

八島士奴美神

やういえむえ

神号固

八河江比賣

やつをれふと

固

八絃琴

やうい

をのゑの

固

矢形尾能多加

やはとゑのおやぬし

神号固

山末之大主神

○由部

三言四言

ゆふ

緩

由流布

ゆふ

字由波太

纈

ゆづ

弓束

由豆加

ゆのま

字由加奈戸

鎗

五言七言

ゆふしがは

吉野地名

結八川

ゆふまやま

地名

遊布

麻山

ゆづるのみわ

大和地名

弓絃葉乃三井

○與部

四言五言

よわ

弱

弱肩

よわ

横去

余許佐

郎布

六言七言

よわ

脚之後大筋

よわのをこく

固 夜之食國

○和部

三言四言六言七言

いづら

石見 地名 固

和多豆

いのくへい

古事記傳四下 固 一卷ニ委シ

和加久用

固

若可倍

和さくら

渡リ又 熱 ナリ

和多良部

われどく

我ラニクノ 固 多ナリ

我自久

和らほくひ

神号

固 若山咋神

わづらひのう

神号 固

和豆良

比能宇斯能神

○爲部

二言四言

わか

津國地名 固 又姓

尊那

かて

山城地名 固 又姓

井出 固 井

提 わかどろ

固

座摩

かやぶら

固

礼自利 固

礼代 わいをり

固 井太 乎利

塙

五言

わまらほ

固

座待月

わのふく

固 爲乃布 久里

豚外

○惠部

二言三言

惠ぬ多て

餓又飢テニテ固ウヲ皆キタ之

惠奴

惠豆

惠系

固惠苗

朝多て

咲酒

惠具志

四言五言

惠るこさ

固喘息ノ声惠奈支須

嗚

惠ひあき

固

醉哭

之

惠さいわえ

咲采

惠美佐迦延

○袁部

二言三言

をえ

津國固地名

乎倍雄家

をえ

信農固地名

乎美

麻績

をか

筑前固地名

崗

をふ

越中固地名

乎布

をこ

固小簾

をちと

繼体天皇固

袁本杼命

をたふ

岑谷固袁

陀尔

をかび

固岡邊

乎加備

をいふ

若狹固乎尔郡名

布遠敷

をふこ

固乎不佐

鞆

をそろ

斥曰俗ニウノト云ニ同シ

固乎曾日呂

四言

をわたりし

和乎加 波良 牡瓦

をそとら

国乎波 志利 躑

をら

くに

固 食國

をそとら

壺鳥

乎曾杼里

をら

くさめ

国乎知加

大目 眇

八言十三言

をけのいそとわけ

顯宗天皇

袁祁之石巢別命

をあらづまはれとくごのいそと

允恭天皇 固男淺

津間若子宿禰命

引書

今	樂	尾	万	帳	文	古
古今集	古今神樂	尾張風記	萬葉集	神名帳	文德實錄	古事記
拾	催	豫	和	大	三	紀
拾遺集	古今催馬樂	伊豫風記	和名鈔	大神宮式	三代實錄	日本書紀
音	仙	壹	字	熱	延	續
土佐日記	遊仙屈	壹岐風記	新撰字鏡	熱田縁起	延喜式	續日本紀
宿	舊	江	出	姓	祝	詔
古今六帖	新撰万葉集	江家次第	出雲風土記	姓氏錄	祝詞式	續紀宣命

後拾遺集源源氏物語榮花物語

あはれなる心もなほ
うらやまの言もなほ
あはれなる心もなほ
うらやまの言もなほ
あはれなる心もなほ
うらやまの言もなほ
あはれなる心もなほ
うらやまの言もなほ

あはれなることなきは
いふにふさわしきこと
はなれり。雅言は
偏にきくことなきは
なほ。いふことなきは
なほ。いふことなきは

あはれなることなきは
いふにふさわしきこと
はなれり。雅言は
偏にきくことなきは
なほ。いふことなきは
なほ。いふことなきは

終末の信

文化土年戌土月

尾張

榭園社中藏板

製本所

名古屋本町十丁目

松屋善兵衛



鈴屋門人
尾張社中著述目錄

田中道麻呂著
撰集萬葉抄 四册

同
萬葉名所歌抄

同
萬葉東語彙 一册

同
萬葉集荅問書 四册

植松有信著
尾張舊地考

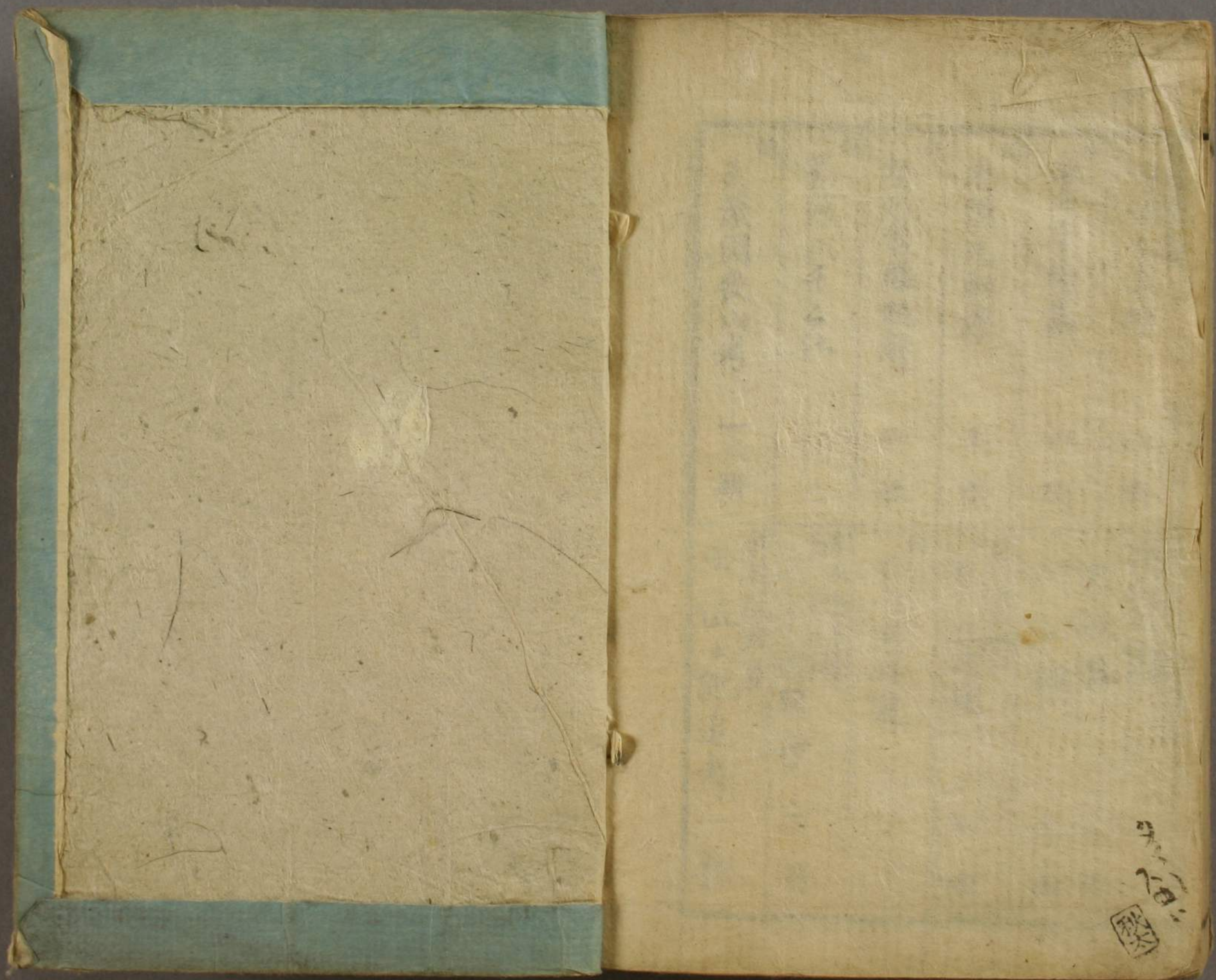
植松有信遺稿
市岡猛彦增訂
歷代正語 三册

加藤磯足著
校異
首書
土佐日記 一册

市岡猛彦著
雅言假字格 二册
同 拾遺 一册

同
平家統のし詞 一册

<small>市岡猛彦著</small> 增補古言梯 二册	<small>同</small> 拾玉草菴集 一册	<small>同</small> 尾張式社考 三册	<small>同</small> 勢田宮緣起解 二册	<small>同</small> 畠山八千石 一册	<small>同</small> 美濃國安山考 一册
<small>磯村道彦遺稿 市岡猛彦增訂</small> 春風集 三册	<small>同</small> 同二編 三册	<small>市岡猛彦校訂</small> 古今選類題 三册	<small>同</small> 古今選拾遺 一册	<small>市岡猛彦撰 森廣主輯</small> 三家類題抄 二册	<small>市岡猛彦著</small> 土佐日記追考 一册



Handwritten text and a square seal stamp in the bottom right corner of the right page. The text is illegible due to fading and the seal is a square red stamp.

